うめだあび
梅田阿比

『幽刻幻談』で2006年
週刊少年チャンピオンでデビュー。
代表作『幻仔譚じゃのめ』『フルセット!』
『ブルーイッシュ』
「月刊ミステリーボニータ」2013年7月号から
『クジラの子らは砂上に歌う』を連載中。

KOMEWORKS カバーデザイン：木緒なち

Presented by Abi Umeda
Published by Akita Shoten
BONITA COMICS

クジラの子らは砂上に歌う
公式ファンブック
Official Fanbook

梅田阿比
秋田書店出版部（監修）

BONITA

BONITA
クジラの子らは砂上に歌う 公式ファンブック
梅田阿比
秋田書店出版部（監修）
秋田書店

9784253260312
1929979009175
ISBN978-4-253-26031-2
C9979 ¥917E (0)
雑誌 40529―31
秋田書店
定価：本体917円＋税

舞台・アニメ化でも話題！
次世代ファンタジーの公式ファンブック！
儚げで美しく精緻な「クジラ」の
世界の魅力を濃密に紹介！

●「クジラ」関係のカラーを70点以上、梅田先生のコメントも多数収録！
●登場人物50人以上の紹介＆解説、ストーリーダイジェスト、世界観解説。
●原作、アニメの魅力を語る梅田先生とイシグロキョウヘイ監督の対談を収録。

BONITA COMICS

クジラの子らは砂上に歌う
公式ファンブック

秋田書店出版部（監修）
梅田阿比
Abi Umeda

AKITASHOTEN
BONITA COMICS

ボニータ・コミックス

クジラの子らは砂上に歌う

公式ファンブック

秋田書店出版部（監修）

梅田阿比

クジラの子らは砂上に歌う

公式ファンブック

CONTENTS

003 ....
Abi Umeda's Artworks

049 ....
泥クジラの世界に生きる人々

110 ....
コラム
特別公開!!
クジラの子らは砂上に歌う 初期設定資料集①
キャラクター編

111 ....
チャクロ先生の世界観講座

134 ....
コラム
特別公開!!
クジラの子らは砂上に歌う 初期設定資料集②
サイミア設定の原型となったアイデアメモ

135 ....
ますます広がる
「クジラの子ら」の世界

※本書には単行本「クジラの子らは砂上に歌う」10巻までの情報が含まれます。
本編未読の方はご注意ください。

ボニータ・コミックス単行本カバーイラスト

Vol.1

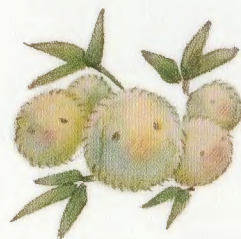
梅田先生のひとりごと　チャクロに何か持たせたかったので、この構図になりました。

Vol.2

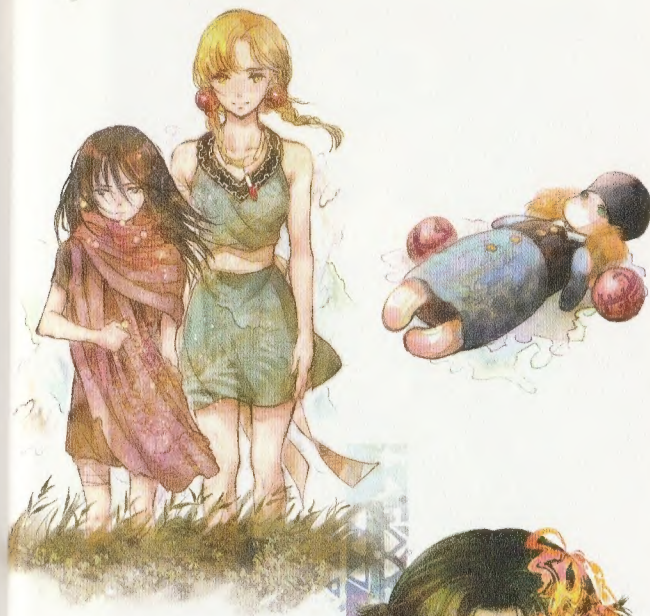
梅田先生のひとりごと　表紙イラストではキャラクターの目の色が赤いのが特徴ですね。

Vol.3

Vol.4

スオウにしようか迷ったんですが、話の展開的にもリョダリかなと。

Vol.6

Vol.5

梅田先生のひとりごと シュアンは3巻の表紙のオウニと構図をわざと同じにしました。

Vol.9

Vol.10

月刊ミステリーボニータ掲載カラー

2013年6月号新連載予告

梅田先生のひとりごと　実はこの時までのタイトルは『泥クジラの感傷航海』でした。改めてタイトルを変更してよかったなぁって思います（笑）。

2013年7月号扉

梅田先生のひとりごと　キャラクターのイメージカラーで色分けしてみました。

2014年1月号巻頭ページ

2013年12月号扉

梅田先生のひとりごと 左のイラストは、この漫画が群像劇だとわかるように、多くのキャラを描きました。

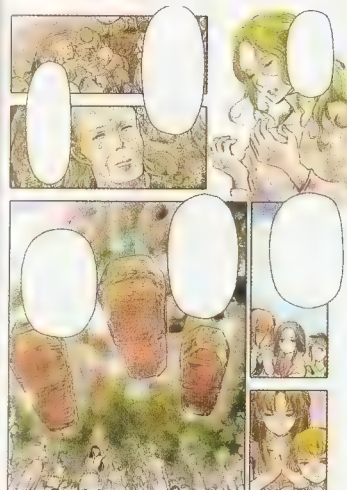
2014年5月号扉

2014年10月号扉

梅田先生のひとりごと オウニのこの先の展開を暗示させるようなイメージです。

2015年1月号巻頭ページ

梅田先生のひとりごと イラストは着色に迷わないのですが、本編は悩みました(笑)。

2015年3月号巻頭ページ

梅田先生のひとりごと ネズがヒロインの位置に!? 担当さんに言われて気づきました(笑)。

2015年7月号予告

2015年8月号表紙

梅田先生のひとりごと　1巻の表紙と同じ構図ですが、顔つきがちょっとだけ成長しています。

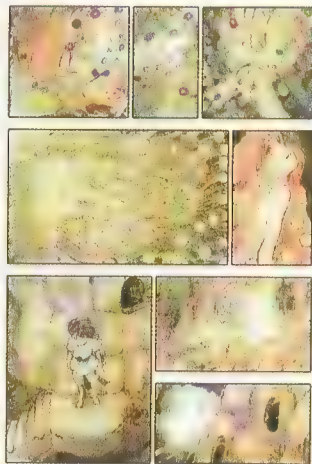
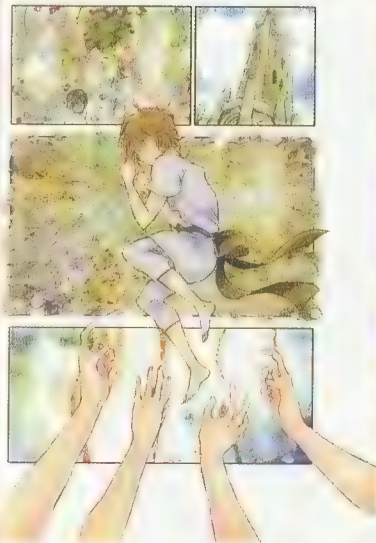
2015年8月号巻頭ページ

2015年11月号扉

ちょっと危険な雰囲気が漂うオウニのデモナスのイメージです。
この構図だと、誰がどう見てもスオウがヒロインに見えますね(笑)。

2016年1月号扉

2016年5月号[illegible]

梅田先生のひとりごと 本誌掲載時、諸事情で外れたチャクロを入れたイラストです。

2017年１月号
巻頭ページ

2016年１１月号扉

2017年1月号巻頭ページ

梅田先生のひとりごと 連載時に担当さんが「タイトルの置き場がない」と苦労されておりました…。
申し訳ございません(笑)。

2017年2月号表紙

2017年4月号扉

2017年5月号表紙

梅田先生のひとりごと　アニメ化が決まり、ちょっと喜んでるチャクロを描いてみました。

2016年1月号読者プレゼント用グリーティングカード

梅田先生のひとりごと　舞台で演じてくれた役者さんに似せて描いてみました。

舞台用描き下ろし

梅田先生のひとりごと 舞台のアクションのような躍動感ある感じにしてみました。

予告用描き下

予告用描き下ろし

予告用描き下ろし

SNS用描き下ろしイラスト

ツイッター開設記念

梅田先生のひとりごと 真面目なキャラクターにコミカルなことをやらせると楽しいですね。

ツイッター1000人突破記念

『この漫画がすごい！』2015年オンナ編第10位記念

『この漫画がすごい！』2015年オンナ編第10位記念

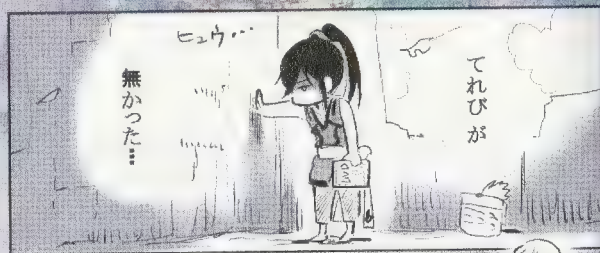
梅田先生のひとりごと チャクロの満面の笑みは、まさに私の気持ちそのものです（笑）。

舞台化記念

舞台開幕まであとひと月

舞台開幕記念

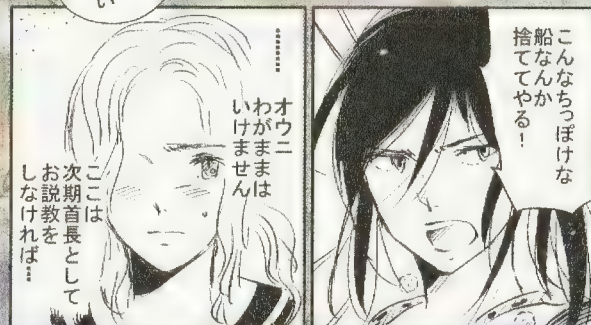
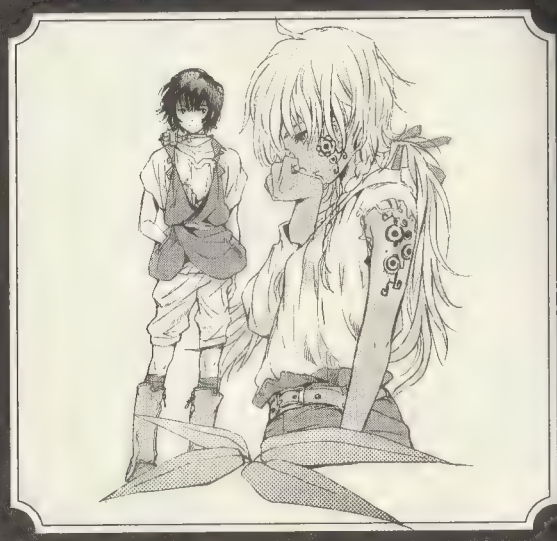
梅田先生のひとりごと　3本立てで一気に描き上げました。リコスやオルカが完全にキャラ崩壊してますが、描いていて楽しかったですね。

どうしても舞台をみに行きたいクジラの子たちシリーズ②

きゃくほん、おけいこを見させていただいたかぎり‥"実話"です!!

どうしても舞台をみに行きたい クジラの子ち シリーズ③

安心してください。まんがのキャラクターたちは一緒に連れて観に行きます。みなさんも劇場で！

舞台『クジ砂』DVD おしらせまんが よやく7月末まで

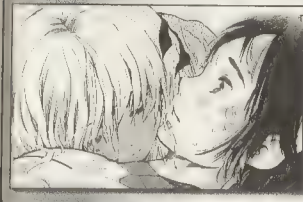
てれびのあるんは予約しましょう！ とくてん ポストカードもあります。

泥クジラの世界に生きる人々

The people who live in the Doro Kujira's world

アニメ化記念

泥クジラ 航海の記録

帝国による突然の襲撃から始まった漂流船・泥クジラの旅。アモンロギアに到達するまでに、チャクロたちが遭遇した出来事をかいつまんで紹介していこう。

① 変化を告げる少女の発見

漂流中だった戦艦リコスで、唯一の生存者リコスをチャクロが発見。この時から泥クジラの変転が始まった。

③ 長老会の決断に

襲撃から生きのびたものの、船を率いる長老会は泥クジラを自ら沈めることを決断。反発した新首長のスオウは捕らえられてしまう。しかし、チャクロの必死の訴えを受け、長老会は決断をひるがえす。

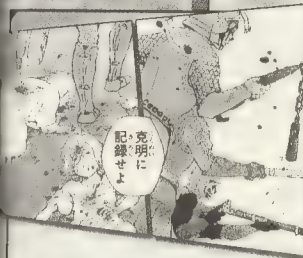
第一次帝国襲撃

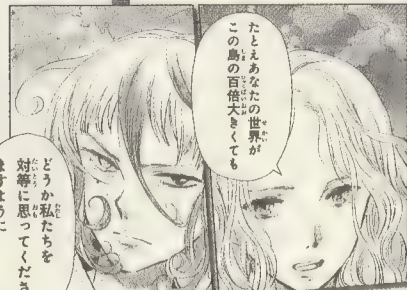
② 安息の時を絶った悲劇

リコスの兄オルカが総指揮官を務める帝国軍の殲滅部隊が、突如として泥クジラを襲撃。チャクロやオウニは抵抗するが、感情をなくした帝国兵士たちの前に泥クジラの人々は蹂躙されていく。ただし、この襲撃は漂流中だった戦艦リコスから魂形を回収するのが目的だったため、魂形を確保したのちに兵士たちは撤収。オルカの命令により、リコスはサンプルとして泥クジラに残される。

④ 泥クジラが生きのびる

集団自決を回避し、スオウは世界のどこかにいる、自分たちを受け入れてくれる人々との出会いを目指す。そのために、数日後に再びやってくる帝国軍への抵抗を決断。オウニの力強い言葉もあり、泥クジラの人々は団結する。戦艦スキロスを母艦として帝国軍が襲撃してくると、泥クジラからは密かにヌース・スキロス破壊が目的の突撃隊が出発。泥クジラで必死の抵抗が試みられている中、オウニの活躍でスキロスは撃沈する。

第二次帝国襲撃

⑤ 初めて接する他国の人々

帝国軍の襲撃を辛くもかわした泥クジラに、スィデラシア連合王国アモンロギア公領領主の息子であるロハリト一行が来訪。ロハリトは泥クジラの人々を裸族と勘違いし、武力でスオウたちを制圧しようとする。しかし、シュアン率いる泥クジラの自警団がロハリトの動きを阻止。しぶしぶながらロハリトは泥クジラへの協力を約束する。さらに、動かし方がわからずにさまよっている泥クジラを、故郷のアモンロギアまで持ち帰ると言い出すのだった。

⑥ コカロが舵としての力を解放

第二次帝国襲撃の際、チャクロがスキロス艦内でオリヴィニスから受け取ったアンスロポスのコカロ。このコカロに秘められた、泥クジラの舵としての力が解き放たれる。解放したのは、泥クジラの奥深くに潜むヌース・ファレナと関係が深い謎の少女エマだった。

⑦ 伝説の「時の塔」を発見

アモンロギアへ向けて舵を切った泥クジラは、「ファレナの檻」と呼ばれる激しい海流を突破。その先で、帝国において「時の塔」と呼ばれる伝説の高塔と遭遇する。時の塔を探索したチャクロたちは、そこで100年以上前に滅びた国の王子と出会う。

↑時の塔は天空へ達するほどの高さで、内部には魂形が存在する。

アモンロギアへの航海

⑧ シコンとシコクが反旗

無印を中心とした体制に不満を抱く双子のシコンとシコクが、泥クジラの新たな先導者集団として「紫翼の舵」結成を宣言。しかし、この決起はオウニに阻止される。

⑨ 「死への幻視」を目撃する

船乗りの間で伝説とされ、「死への幻視」と呼ばれる塩の都市と遭遇。泥クジラにとっては貴重な資源である塩の補給ができるかと思いきや、塩でできた巨大都市はチャクロたちの目の前で崩れ去ってしまう。

⑩ [illegible] 泥クジラの幽霊船が……

アモンロギアへの航海が無事続いていると思っていた矢先、エマの企みで泥クジラの幽霊船が出現。スキロス撃沈以来、サイミアが使えなくなっていたオウニが昏倒してしまう。チャクロたちは最長老ビャクロクの残した言葉を頼りに、オウニを救う方法を模索。この最中、泥クジラの奥底にある「ミゼンの部屋」を発見し、チャクロは泥クジラに秘められていた悲しい過去を知る。一方、オウニは謎の暴走を始めるが、スオウのおかげで正気を取り戻す。

アモンロギアへの航海

⑪ 到着したアモンロギアで受けた手痛すぎる歓迎

マソオの死という出来事はあったものの、泥クジラはアモンロギアへ無事到着。スオウを中心とした無印が上陸し、領主ダクティラと会見する。しかし、ダクティラはスオウたちを人質に取り、印たちに兵士として戦うことを要求。そのうえ、泥クジラを追うオルカが指揮する戦艦カルハリアスがアモンロギアに接近してくる。チャクロたちはアモンロギア潜入隊を組み、スオウたちの奪回を決意し…。

泥クジラ住人相関図

泥クジラが旅する世界はさまざまな人々の思いが混じり合っている。
おのおのの関係性をまとめた相関図をここで紹介しよう。

首長とその周辺

長老会

自警団

各勢力相関図

帝国

オルカ

上司 → ブルゾス ハルコス

オルカを監視

叔父

アツァリ

元上司

疎ましい存在だがオルカの力は必要

恋愛感情？

恋愛感情

上司

愛情？

オルカの直属部隊

イティア

リョダリ

虫籠隊

道化

魂召会（エクレシア）

アモンロギア家（スィデラシア連合王国）

ロハリトの家臣

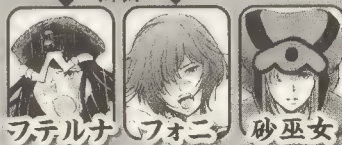
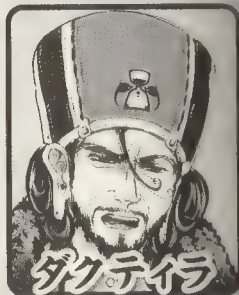
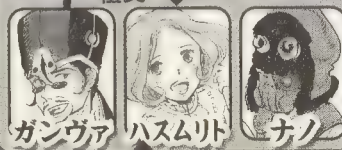
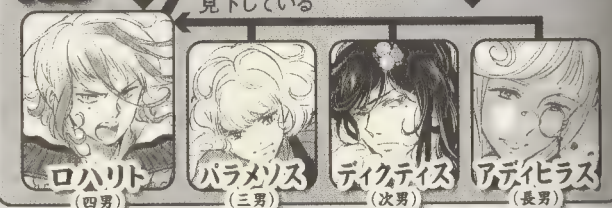
砂巫女

密偵として派遣

乳兄弟

主人

親子

兄弟

見下している

住民のための移住地を求めている

泥クジラとサイミアの力を手に入れようとしている

泥クジラ

Chakuro チャクロ

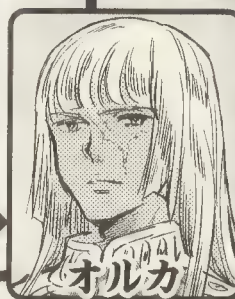
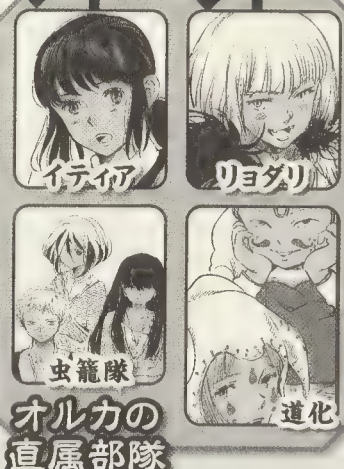
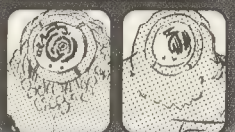
（印・4月18日生・14歳）

※年齢はすべて初登場時の設定です。

忘れるなんてできない
痛みや苦しみすべてが
俺たちの生きてきた記録だから

記録係の少年は何を書き残すのか…

泥クジラで起きた出来事を書き残す記録係の少年。ハイパーグラフィア（過書の病）のため、時おり書く衝動を抑えられなくなってしまう。また、念力のサイミアをつかえる印だが、うまく制御できないために「デストロイヤー」と呼ばれる。涙もろいものの、数々の悲しみを経て成長。彼の姿を見て、泥クジラの仲間が励まされることもあるほどになった。

↑衝動にかられると、ところかまわず事実をありのまま記述する。

梅田先生のひとりごと

いい子であることにどこか罪悪感を抱いているチャクロは、性格が私と近いところがあるので、同族嫌悪を感じることがあるんです(笑)。だから、私と似ないよう意識してますし、これからは変わっていく姿を描いていきたいですね。

いつも大事なもののために臆病になる“弱きもの”だった しかし私たちはそれでも

[illegible]られており、困難の中で徐々にその強さを表に出しつつある。

Part 鮮烈な感性の持ち主として…

泥クジラと深く関わりがあるネリによると、チャクロは他者を思い、他者のために動ける人物だという。それは直面した困難が大きいほど発揮される力なのかもしれない。

Personality 優しき心に秘められた

どんなに恐ろしく悲しい想いをしても…
私たちは記録者であることをやめたくはない

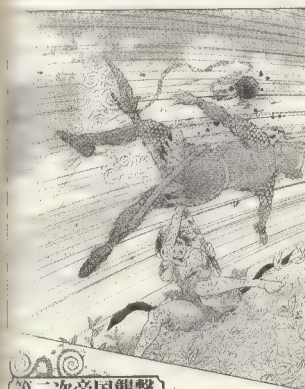
無垢な少年の瞳に映った世界とは…

チャクロ 戦いの記録

サミ 全然重くないよ…
聞いてる……?

〔第一次帝国襲撃〕

悲しみを癒やす時もなく…

幼なじみのサミを失った悲しみに耐えきれず、死を選ぼうとするが、子供たちを救うために自ら武器を手に取る。

〔第二次帝国襲撃〕

託された未来の行方

そんなの誰が決めたんだよ!!
ポウ

帝国軍への抵抗を長老会に決意させたチャクロは、この戦いでスキロス突撃隊に参加。[illegible]リヴィ[illegible]から[illegible]カロを託される。

突然の変転を徐々に受け入れ…

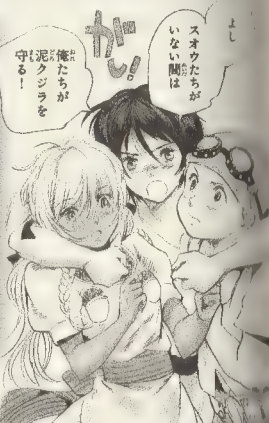
チャクロはもともと、どこか頼りなげな少年だった。しかし、帝国の第一次襲撃を受けたあと、世界に残る人々の魂をネリに見せられたのが変化のきっかけとなる。以後、チャクロは泥クジラのために自ら行動するようになり、どこか冷めた姿勢を見せていたオウニすら立ち上がらせた。

[illegible]い旅が[illegible]えた勇気

アモンロギアを目指す航海の最中、チャクロは泥クジラが印たちの命を食べているという事実を知る。絶望感にさいなまれたチャクロだったが、事実を受け入れて前に進もうとするリコスやスオウたちの姿に励まされ、悲しみを乗り越えていく。その後、チャクロの瞳には以前にはなかった強さが宿るようになった。

〔アモンロギアへの航海〕

託されたもの、決意したこと

航海の途中で時の塔を探索した際、チャクロは100年以上前からさまよい続ける亡国の王子と遭遇。記録を残してくれるよう、王子から過去の記憶を託される。泥クジラの幽霊船と遭遇した際には、ミゼンの部屋で過去の首長たちが残した膨大な泥クジラの記録を発見した。

アモンロギア到着後、チャクロは人質になったスオウたちのために自ら戦うことを決意。少年から青年へたくましくなりつつある姿を垣間見せた。

リコス

Rikos（印・12月6日生・14歳）

ずっと私はからっぽだったのに
今は思い出でいっぱいになって
苦しいくらいなの

少女に安息の時は訪れるのだろうか…

もともとは帝国の兵士であり、泥クジラを襲撃するはずだった戦艦リコスに搭乗していた。帝国軍の高官を務めるオルカは実兄。敵国の襲撃を受けて漂流している時、チャクロに救出されて泥クジラの一員となる。感情を魂形（ヌース）に捧げる帝国の傘下から離れて以来、徐々に感情を取り戻しつつあり、今では笑顔を見せたり、恋心を抱くようになった。

↑泥クジラの人々のために何とかしたいという気持ちが芽生えたリコス。

Personality あふれ出す感情への戸惑い

感情が戻りつつあるリコスだが、今はまだ内面に湧き上がる感情に戸惑い気味の様子。特にチャクロへの想いが大きく影響しているようだが、一方のチャクロはリコスの想いに鈍感で…。

……私には耐えられない……感情がある状態なんて

Part 泥クジラの未来を守るために

梅田先生のひとりごと

リコスは泥クジラの仲間になって幸せになりたいとまだ考えていないんです。でも、深刻になりすぎると暗くなっちゃうので（笑）、感情をうまく出せないズレとかをコミカルに描けたらいいなって思ってます。

リコスは自分を受け入れてくれた泥クジラの人々を、自分の故郷の人々が苦しめているという罪悪感をどこかに抱えている。それが泥クジラを守ろうとする動機につながっているようだ。

私は帰ってこられないかもしれない

でも叶うのなら また泥クジラへ戻ってきていい？

想いを断ち切るのは、人として生きるため。

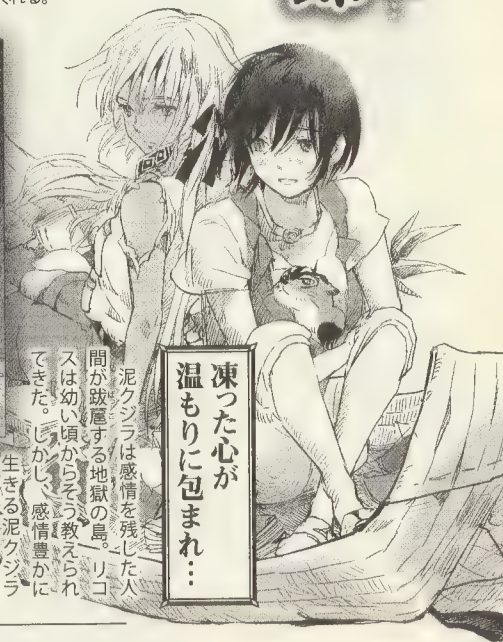
リコス 戦いの記録

第一～二次帝国襲撃

敵中に見出した自分の帰るべき場所

泥クジラで感情の大切さを知ったリコスは帝国からの離反を決意。己の出自から罪悪感にかられるリコスを、チャクロは優しく受け入れる。

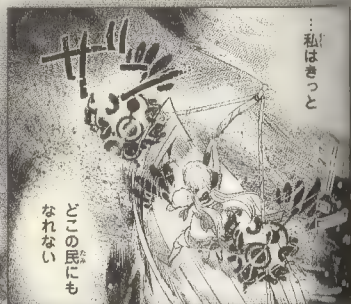
凍った心が温もりに包まれ…

泥クジラは感情を残した人間が跋扈する地獄の島。リコスは幼い頃からそう教えられてきた。しかし、感情豊かに生きる泥クジラの人々と接して、リコスは変化する。そのきっかけを与えてくれたのは、彼女に「泥クジラで一緒に暮らそう」と言ってくれたチャクロだった。

い想いはやがて抑えきれぬ感情に

リコスは印の命を食べる泥クジラの秘密を知っていたこともあり、後ろめたさを消せずにいた。そのうえ、シコンとシコクがリコスを敵の内通者ではないかと指摘。泥クジラは自分の居場所ではないという思いにかられてしまう…。

アモンロギアへの航海

自覚するチャクロへの恋心

チャクロへの想いがやがて恋心に変化していくのは、感情が戻りつつあったリコスにとって自然な流れだった。ただ、リコスはその想いとの向き合い方がわからずに戸惑っていた。

帝国-アモンロギア戦争

兄に向けられた刃

アモンロギア到着後、シコンたちから痛烈に批判されたリコスは泥クジラから離脱。人質となったスオウたちの救出に単身で向かい、そこで偶然、兄のオルカに出会い…!?

スオウ（無印・4月10日生・17歳）

呪いも憎しみも関係ない…私たちは考えることをやめてはいけない 立ちどまるわけにはいかないんです!

未曾有の災厄に若き首長として臨む

帝国の襲撃を受けて泥クジラが大混乱に陥った最中、新首長として泥クジラを率いることになった青年。サイミアの使えない無印であり、運動神経が鈍いため、戦闘力は皆無。一方で泥クジラの人々に対する無償の思いは誰よりも強い。それが反抗分子やオウニのような謎に満ちた存在を含む、泥クジラのすべての人々を守ろうとする姿勢につながっている。

↑普段は温厚なスオウだが、泥クジラの人々が危険にさらされれば怒る!

梅田先生のひとりごと

スオウは天然で頼りないというか、周囲が「支えてあげないと」って感じるキャラなんですけど…。実は自分ではなく他者のために悩む姿勢が絶対にブレない、泥クジラで一番メンタルが強い人物なんですよね。

Personality あまりに思いが強すぎるがゆえに

スオウが涙することが多いのは、決して精神的に弱いからではない。泥クジラの人々を守ろうとする思いがあふれるばかりにもかかわらず、戦いでは無印として何もできない無力感に包まれるからなのだろう。

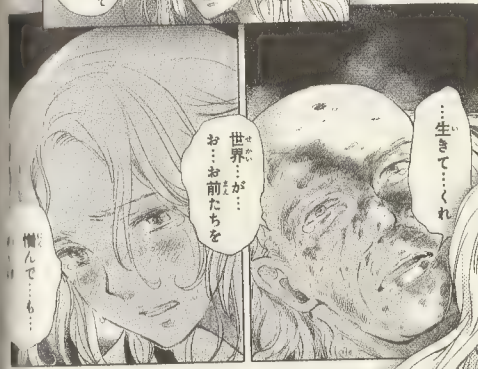
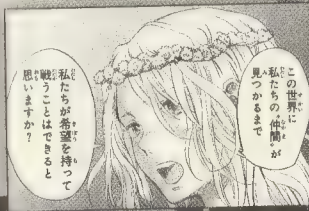
…ごめんなさい 悲しい思いをさせてしまった

Part すべてを背負う覚悟を胸に…

ヌース・ファレナに命を捧げる印のために生きる、「印のための無印」の象徴。誰かに教えられることなく、その姿勢が自然に備わっていたのがスオウだった。だからこそスオウは泥クジラの誰からも慕われる指導者なのだ。

民の命を喰らう そんな王がこの世にいるものですか

スオウ 戦いの記録

枯れてもなお涙は流れ続けるものなのか…

混乱の中で首長となったスオウの決断は…

第一次帝国襲撃の直後、現役首長だったタイシャの死に伴ってスオウは首長に就任。長老会から、泥クジラの人々が穏便に集団自決できるよう導くことを命じられる。スオウは長老会の決定に反発し、帝国軍に立ち向かうことを決断。これは泥クジラを敵視する帝国以外にも国があるとリコスから聞き、自分たちを受け入れてくれる人々がいるかもしれないという希望が芽生えたためだった。

[illegible]二次帝国襲撃

悲しみにくれる間もなく

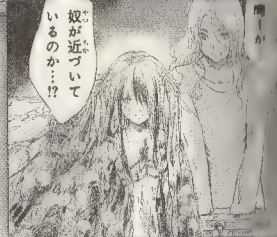
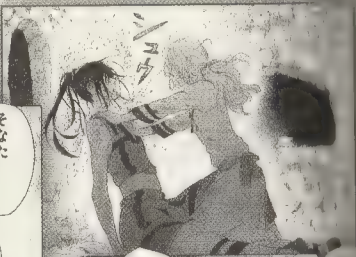
[illegible]会に反発したスオウは一時的に[illegible]拘束されるが、第二次襲撃の[illegible]は新たなリーダーとして防衛作戦[illegible]。戦いの最中、長老会の中心[illegible]で瀕死の重傷を負ったハクジから[illegible]ラの未来を託される。

[illegible]仲間探しの旅

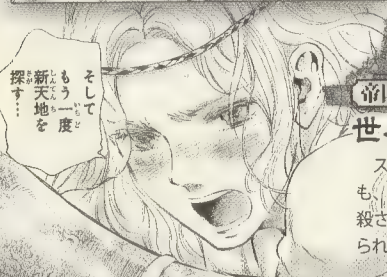
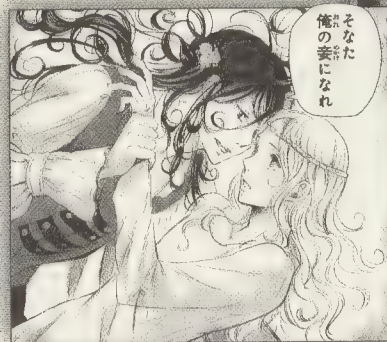
帝国の襲撃を逃れたのちも、ヌース・ファレナが印の命を餌としているという秘密の露見、オウニは忌むべき存在なのではないかという疑念など、数多くの困難が降りかかる。しかし、泥クジラの人々のために、というスオウの信念はまったく揺るがなかった。

アモンロギアへの航海

泥クジラを守る首長として

ヌース・ファレナの秘密を知ったスオウは[illegible]れをあえて秘密にしつづけることで印の平[illegible]ろうと決断。オウニの力が暴走した際には、[illegible]と思しき力でオウニを落ち着かせた。

帝国-アモンロギア戦争

世界の荒波の中で

スオウはアモンロギアで人質になりながらも、泥クジラの人々の解放をダクティラに主張。殺されそうになるが、アモンロギアで神と崇められる石守主（ソティラス）がスオウの前に立ち…。

…俺は俺の存在が 俺の力が
あいつらの新しい世界を
傷つけるとわかってしまった

Personality 愛しているがゆえに

オウニは泥クジラとそこで暮らす人々への愛着が非常に強い。一方で、泥クジラの人々にとって強大な力を持つ自分は害になると感じており、人々と距離を置いている部分がある。

Part

世界を震撼させる存在

デモナスではないかと噂されるオウニは、帝国で神体とされる魂形ですら破壊する力を持つ。それだけに現在の世界情勢を覆す可能性もあり、今後の動向が注目される存在といえる。

梅田先生のひとりごと

オウニはニビがいなくなったあとで、どう描くか悩んだキャラなんです。過去にミゼンのことがあったから、オウニの今後が心配だと思いますが…。ぜひオウニのことは気にしつづけてください!

英雄ってのは孤独なんだ

たとえお前自身が何かを壊し失っても な
それがヒーローだ ぜんぶお前の好きにすればいい

オウニ（印・2月7日生・16歳）

Ouni

泥クジラ お前が好きだ
みんながここを去ったら
二人だけで旅をしよう

↑泥クジラの人々とは、明らかに異質なサイミアの力を持つオウニ。

その存在は味方なのか それとも…

外の世界に憧れ、泥クジラでは規則違反を繰り返す「体内モグラ」のリーダー格。オウニの出自については一切の謎に包まれており、両親が誰なのか本人すらわかっていない。サイミアの力はもともと高かったが、帝国の襲撃を受けたのをきっかけに能力が一気に覚醒。どうやら帝国がデモナスと恐れる、魂形の力によって創られた最強の兵士らしいが…。

オウニ 戦いの記録

自分を受け入れてくれる世界を求めて…

目覚めつつある秘められた力

かつてのオウニは腕っ節の強い、不良グループのリーダーのような存在で、そこに危険な匂いは漂っていなかった。しかし、最愛の仲間ニビを失ったのを機に強大なサイミアの力が覚醒。帝国のオルカはオウニを封印されたはずのデモナスと断定し、一気にその存在がクローズアップされる。

第一次帝国襲撃

憧れた世界が示した悲しき現実

オウニは帝国に襲撃されて体内モグラの仲間を失ったうえ、泥クジラの外の世界に抱いていた憧れを打ち砕かれて激怒。数多くの帝国兵士を血祭りに上げている。

スキロス突撃隊に参加したオウニは敵に包囲されるものの、ニビの機転で危機を脱出する。しかし、ニビは隙を突かれて戦死。悲しみの中、オウニのサイミアが暴発してスキロスを沈めてしまう。

第二次帝国襲撃

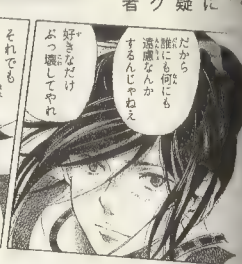
存在意義を与えてくれた幼なじみの死

突きつけられる存在への疑問

帝国の襲撃を受けたのち、泥クジラの人々とは異なる力が徐々に現れてくると、オウニは自分の殻の中に閉じこもりがちになってしまう。そんなオウニのかたくなな心を解放したのは、オウニとはあまり関わりがなさそうな意外な人物だった。

アモンロギアへの航海

思うがゆえに高くなる心の壁

[illegible]幽霊船が出現した時オウニの力が暴走する。これを機に自分はデモナスではないかという疑念を抱き、今のままでは大切な泥クジラの人々を傷つけると懸念。他者との交わりを断ってしまう。

帝国-アモンロギア戦争

心を解き放った遺言

無印の人々がアモンロギアの捕囚になり、泥クジラの今後について人々が紛糾した当初、オウニは何も行動を起こそうとしなかった。しかし、オウニの前に亡くなったマソオの魂が出現。アドバイスとともに励ましを受け、無印のために戦うことを決意する。

シュアン

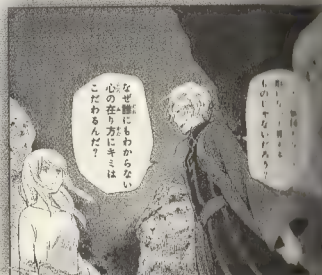
Shuan（印・11月21日生・25歳）

そう ボクらはただ わからずやの世界に 仕返しすることしかできないのさ!

泥クジラを守るべく生まれた禁忌の存在

泥クジラ自警団の元団長。9歳の時、子供をデモナスに作り変える実験の被験者とされ、泥クジラでも随一の力を得る。しかし、自分は何者なのかという疑念に取り憑かれ、己の存在を否定。母親のラシャとは断絶状態となる。オウニが力を発揮するようになってからは、彼に同族嫌悪のような感情を抱くと同時に、シュアンにも変化が見えるようになった。

↑以前は命令されたから泥クジラを守っているだけの人物だった。

これまでファレナが食べてきた数多くの命と
合成された
ボクはだれ?
あの日から自分が誰なのか ボクにはわからない
誰であるのか 何者になりたかったのか
そして今 皆がこの島を手放すというのなら
役割を終えた こんな心と身体なんか
泥船のゴミくずですらない
ボクは…

Personality & Part

抑制された感情の行方

以前のシュアンは妻のシエナに平然と自決を勧めるような、感情の欠損した人物だった。しかし、現在は内面に迷いが生じ、への執着を抱くようになった。

ボクらだけはどこへも行けない この孤独から決して逃れられないんだ

戦いの記録

苦境の中で悟った己の願望

かつてのシュアンは己の運命を呪い、生きている実感を持てていなかった。ただ、オウニの力が開花するにつれ、シュアンの内面も変化。スオウとダクティラの会談の際には苛立ちを爆発させ、初めて他者のためを思って抵抗。最後はダクティラの捕囚となった。

アン♪

梅田先生のひとりごと

私、もともと強いキャラが、途中で自分の弱さを味わって思い悩む展開が好きなんです(笑)。なので、いつかシュアンもそうなるだろうと楽しみに描いていました。

ともし火みたいに消えそうになると このくだらない命にしがみついてしまう

ギンシュ

Ginshu（印・5月8日生・16歳）

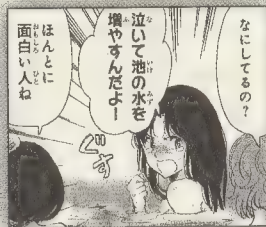
アタシは泥クジラのみんなを泣かせたりしないぞ…!!

泥クジラに明るさをもたらす少女

泥クジラ自警団の団長。人の呼び方にこだわりを持っており、誰にでもニックネームをつけてしまう。また、チャクロをかわいい弟分のように思っていて、何かと彼のことを気にかけている。そのため、チャクロがアモンロギアの兵士になると志願した際には、団長の任務を自警団仲間のトノコに押しつけ、チャクロとともに兵士になると言い出した。

↑他者のみならず、自分の呼称にこだわるのもギンシュならでは。

Personality & Part

怖いもの知らずにして天真爛漫

ギンシュの性格は明るくて、とにかくまっすぐ。そのうえ、相手が誰でも分け隔てなく接する。そんな彼女がいてくれるからこそ、苛酷な状況下にある泥クジラの雰囲気が沈まないのかもしれない。

人の呼び方ってのはな 大事なんだ その人のこと どういう風に思っているかの 現れなんだよ

戦いの記録

苛酷な状況でも決してあきらめず

第一次帝国襲撃の頃からチャクロの姉貴分に。アモンロギアでスオウたちが人質になり、泥クジラの人々が内部分裂しかかった時には、悩むチャクロを支えた。

第二次帝国襲撃の際、自警団に所属していたギンシュはスキロス突撃隊に参加。チャクロやリコス、オウニらとともに奇蹟の生還を果たした。

きもちのびょうきはだな 頑張ればけっこう治せるもんだ

梅田先生のひとりごと

他のキャラは悩んで精神的に上下することはありますけど、ギンシュだけは上がりっぱなしなんですよね。深刻に悩みだしたら、それはそれで面白いかもしれません（笑）。

Neri & Emma ネリ＆エマ

私たちの喜びは この星でクジラの子らをみつけられたこと——

対極の考えを持つ謎に満ちた2人の少女

スキロスのオリヴィニスは2人を「ファレナの血」と表現していることから、ネリとエマはヌース・ファレナを母体とする存在と思われる。ただし、エマは泥クジラの人々をヌース・ファレナの餌と認識。一方でネリは泥クジラの人々に何らかの可能性を感じており、2人の考えはまったく異なるようだ。

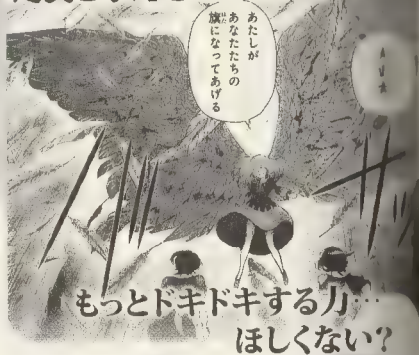
無印はいらないわ
食べられないもの
あたしたちは可愛い餌と永遠に旅をするべきなのよ？
命だから
命は戦いだからよ
…あなたは正しいわ
でも…つまらない

↑考え方の違いが、泥クジラの人々に対する2人の行動に反映されている。

生きて奪って散り果てるまで 燦燦と魂を燃やすのよ…

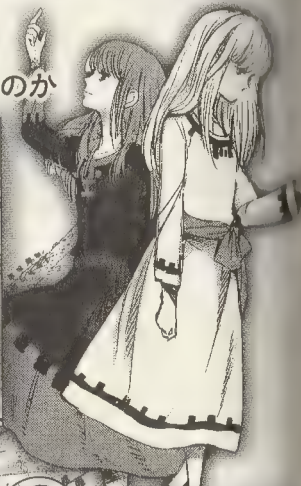
「魔女（マギサ）」と呼ばれるエマは泥クジラの人々を惑わすような行動が目立ち、どこか冷たさを感じさせる。逆にネリは人々に対して優しさを感じさせるような行動を取ることが多い。

Personality & Part

慈愛と冷酷さのはざまで

もっとドキドキする力…ほしくない？

戦いの記録

ただの餌なのか 愛すべきものなのか

泥クジラが重大な局面に追られた時、ネリとエマは何らかのヒントを人々に示している。それらは泥クジラの今後を左右すると同時に、単純に善悪で区別できない啓示が多い。

梅田先生のひとりごと

ネリとエマは人々に直接介入できないルールのようなものがあるんです。進化していくうえでの選択肢を生物に提示する、そんな役割を2人は担っているんですよね。

この世界が綺麗なのが なぜだか知っていますか？

サミ

Sami

（印・8月17日生・13歳）

……あのね わたし
チャクロのお嫁さんに
なりたかった

少女の想いは チャクロの心の中に

スオウの妹であり、チャクロの幼なじみ。泥クジラでは幼い印たちの教育係を務めている。また、チャクロに想いを寄せており、泥クジラで2人は公認の仲だった。しかし、第一次帝国襲撃の際、サミはチャクロを守るように帝国兵士の銃撃を受けて死亡。チャクロの受けた衝撃はあまりに大きく、一時はもう死んでもかまわないと思い込んだほどだった。

ひゅーひゅー

そんなんじゃない!!

↑公認の仲とはいえ、さすがに冷やかされると恥ずかしいようで…。

梅田先生のひとりごと

チャクロはサミのことが本当に好きで、サミの死後もその想いは揺らいでない。だから私の中では、リコスが現れてもチャクロはグラッともしてない感じなんですよね。

チャクロ…だっこして
前んときはだっこしてくれた

Personality & Part

姉？ それとも妹…？

チャクロより年下だが、サミのほうが大人っぽい部分もあった。チャクロを守るようにして帝国兵士に撃たれたのは、姉として弟を守ろうとした意識の表れだったのかもしれない。

戦いの記録

最初の襲撃の犠牲に…

帝国の襲撃で落命したのち、サミはネリの力で魂となった姿をチャクロの前に現し、自分の気持ちを伝えて消えていった。

!

笑っていてごめん
けれど忘れたことはないよ
これからも
ずっと憶えている

クチバ

Kuchiba（無印・6月30日生・39歳）

その人生の重みがわかるか?
お前らなんかに…
お前らなんかに
命を奪われていい
人ではなかった…!

スオウを支える首長側近のまとめ役

スオウを補佐する側近の1人。泥クジラと印を守ろうとする気持ちは強いものの、規則を重んじるところがあり、よくマソオに「頭でっかち」と言われる。また、意外と空気が読めない一面もある。先代首長のタイシャに想いを寄せていた。

うっせー!この頭でっかち!!
なんだとこの筋肉大馬鹿野郎が!!
……

↑マソオとはことあるごとに衝突しているが、お互いを思う気持ちは非常に強い。

マソオ

…この島がもし
呪われてるなら…
俺が全部持ってくよ

チャクロら子供たちの兄貴分

クチバとは腐れ縁でケンカ友達。サイミアの能力は自警団からスカウトされたほど高い。また、面倒見がよく、子供たちからは非常に慕われている。シノノに想いを寄せており、印としての寿命が尽きる間際にその想いを遂げた。

非常時だから

↑→自らの寿命に気づいていたマソオは、戦闘であえて汚れ役を買って出る。そんなマソオにシノノも惹かれていた。

泥クジラの発明家

ネズ Nezu（印・5月15日生・15歳）

工房の一員。チャクロやロウとよく3人で行動する。無類の発明好きで、アモンロギアの技術者ナノを師匠と仰ぐ。これまでロウとさまざまな発明品を発表するも、すぐ

ロウ Rou（印・7月17日生・15歳）

ネズの相棒は無口な少年

工房の一員で、ネズと同様に無類の発明好き。口数が少なく表情が乏しいが、母親思いの一面を持っており、母親のことになると思いを露わにすることも。

ハム Hamu

泥クジラのマスコット

チャクロが戦艦リコスを訪れた際、連れて帰ってきた動物。泥クジラの住人にかわいがられており、特にチャクロとリコスに懐いている。

コカロ Kokaro

泥クジラを新天地へ導く舵

チャクロがスキロス突撃時に出会ったオリヴィニスから渡された謎の動物。その正体はアンスロポスの骨と呼ばれる、泥クジラを操舵するために必要な舵だった。

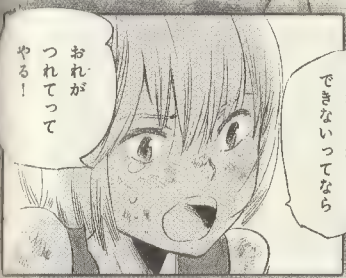
ニビ
Nibi（印・1月24日生・17歳）

"仲間"になれ！そうすればおまえを外へつれ出してやる!!

オウニの親友で体内モグラの一員

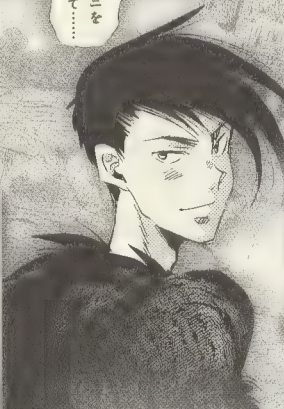
体内モグラのメンバーで、オウニが心を許す数少ない親友。幼い頃、オウニとサイミアを使ってケンカしたことがきっかけで、二人揃って泥クジラの体内送りに。その際、オウニを仲間に誘い、彼を外の世界へ連れていくと約束する。

「スキロス突撃時、無茶しそうなオウニが心配となり、無理やり突撃隊に参加。スキロス艦内で、足を撃たれ動けなくなったオウニを救うが、敵兵の槍に襲われ命を落とす。

キチャ

体内モグラ唯一の女の子

体内モグラのメンバーで、耳のついた帽子と男の子っぽい言葉遣いが特徴の女の子。オウニに想いを寄せている。

ジキ

年上だけどキチャの弟分？

体内モグラのメンバー。ニビやキチャとは子供の頃からの仲間で、オウニやニビのように外の世界に憧れている。オウニが塞ぎ込んでいる時は、キチャと一緒にオウニを近くから見守っている。

その他の体内モグラのメンバー

アイジロ

ブキ

シコク SIKOKU（印・16歳）

シコン SIKON（印・16歳）

無印排斥を企てる体内モグラの強硬派

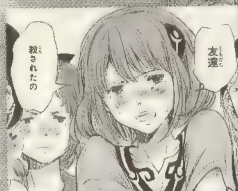
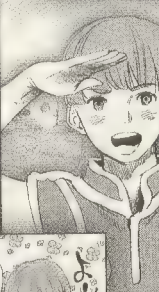
体内モグラのメンバーで双子の兄弟。オウニに惹かれているものの、ニビとは折り合いが悪かった。第二次帝国襲撃ののち、無印のやり方に不満を抱きはじめ、反無印組織・紫翼の舵を結成。泥クジラに不穏な空気をもたらす。

泥クジラを印だけの世界にしようと目論んでいるが、今のところ賛同者は非常に少ない。

ウルミ

明るく元気な活発系女子！

同世代の女の子たちのリーダー的存在。帝国襲撃時に殺された友達の仇を討つため、帝国と戦うことを決意する。サイミアの扱いには長けており、スキロス突撃などの特別任務の際には必ず招集されている。

トクサ TOKUSA（印・21歳）

突撃隊のムードメーカー

自警団第3班班長で、スキロス突撃隊の隊長を務めた。ムードメーカー的存在でもあり、人の頭を撫でながら「よしよし」するのがクセ。スオウとは友達で、彼からの信頼も厚い。

モジャ

印を第一に思う青年

スキロス突撃隊やアモンロギア潜入隊に参加した青年。スオウや長老会に敵意はないが、印だけが犠牲になるやり方には納得できずにいるため、印が傷つかない解決方法を模索する。ちなみにモジャはあだ名。

タイシャ
Taisha（無印・41歳）

印に身も心も捧げた女性首長

泥クジラの先代首長。泥クジラの象徴として、印のために首長の役目に努めていたが、第一次帝国襲撃で命を落としてしまう。

シノノ
Sinono（無印・33歳）

印を愛することを拒む未亡人

首長側近の1人。印の夫を亡くしており、印の人を好きにならないと誓う。そのため、マソオの気持ちを知りながらも応えられずにいた。

カナエ
Kanae（無印・36歳）

首長側近でロウの母親。口数の少ないロウを気にかけてはいるが、無印の親と印の子の関係から距離を置いている。

フラノ
Furano（無印）

首長側近の1人。スオウたち無印がアモンロギアへ向かった際、泥クジラに残って首長代理を務めていた。

トビ
Tobi（印・16歳）

3人の弟妹を持つよきお兄ちゃん

幼い弟妹を持つ少年。チャクロと共同生活を送っており、彼のドジに怒りながらも、朝食の支度や朝になると起こしにいくなど面倒見はいい。

ミル
Miru（無印・13歳）

整理整頓好きな次期首長

次期首長とされる少女。スオウの付き人をしており、スオウの身の回りの世話をしている。文字の読み書きが得意で、本人曰く字はチャクロよりきれいだとか。

キクジン
Kikujin（印・9歳）

クチバの息子はチャクロの観察者

クチバの一人息子。文字が好きで、師匠はチャクロの祖父コガレ。その理由は不明だが、チャクロが書いた文字を書き写すという使命感にかられている。

ビャクロク（無印・93歳）

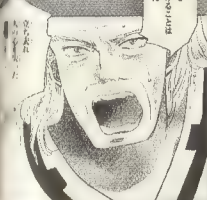
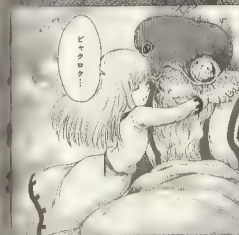
最長老さま

印のための…

ビャクロク…

長老会の最年長

泥クジラの3代目首長で、船で最初に生まれた子供。高齢のため自分を失っていたが、泥クジラの幽霊船出現時に一時覚醒。倒れているオウニをミゼンと重ね、ミゼンの部屋に行けばミゼンやシュアンが助かると告げる。

ハクジ（無印・72歳）

Hakuji

苦渋の選択を下した長老会のリーダー

高齢のビャクロクに代わる、長老会の実質的リーダー。第一次帝国襲撃後、泥クジラを沈めて誇りある死を選ぶ苦渋の決断をする。しかしチャクロやリコスの説得により、スオウに新しい未来を託す。

コガレ

超然としたチャクロの祖父

チャクロの祖父であり、キクジンにとっては文字の師匠に当たる。長老会に属しているが、指定の衣服をまとわずに、印と同じような服装をしていた。また、インクに使われるタデスミの染料で髪を黒く染めており、見かけより若く見えるのが特徴。

シブカシアの甘い香りがするだろう？

この世界のルールは揺るがない

ラシャ（無印・61歳）

Rasha

心を取られた兵士のほうがまだ救いがあるってもんさ……

子供たちは明日人を殺してしまうかもしれない

それを「お前」が決めたんだ

冷めた目のシュアンの母

長老会の一員でシュアンの母。その言動にややトゲがあり、第二次帝国襲撃の対策会議ではスオウやクチバに対して厳しい言葉を放った。息子のシュアンを拒絶しており、これはシュアンをデモナスにしたことが関係するようだ。

ミゼン（印・10歳）

Mizen

世界最後のデモナス?

ズィオが生み出したデモナス。ズィオを「かあさん」と呼び、彼女の船を守りたいという願いに従い、その邪魔者を排除する。また、自分が泥クジラなしでは生きられないため、外の世界への強い憧れを抱いている。

おれは島をまもってここをかあさんの理想の島にできたら
自由に…なれるかな…
…自由になれるか?

おれは…
かあさんの命令をまもった…だけだ…
かあさん…は
おれに「この島をまもれ」って……

ズィオ（無印）

Zuio

泥クジラにおける初代首長

帝国の感情統制に反対する活動家で、デモナスを生む一族の末裔。初代首長として泥クジラを守りたいという願いは強いが、それが枷となり彼女の心を蝕む。

エカト

ズィオを愛した魂召会（エクレシア）の密偵

魂召会（エクレシア）議員の孫。帝国の感情統制に反対していたため、魂召会（エクレシア）に忠誠を疑われ、密偵という形で泥クジラに流刑される。ズィオとはお互いのことを想っていたが密偵だと知られ、ズィオが生んだデモナスのミゼンに処刑される。

もしかしてこのままこの島で生きていけるのかもって…
そんな未来を想像したこともあるけど…
僕には未来なんてない
でも…君にはある

ビャクロク（少年期）

泥クジラの未来を担う先導者

泥クジラの3代目首長。母親を早くに亡くし、面倒を見てくれたズィオを母か姉のように慕っている。ミゼンと出会い、泥クジラ内で触れてはならない禁忌のひとつであるエカトの失踪が、ズィオとミゼンによるものだと知る。

私は「ミゼン」の友達になることにした

オルカ

Orca（印・9月4日生・24歳）

…私は国を動かしたいんじゃない
目的はもっと…ほかにあるんだ

リコスの兄ははるか遠くを見つめ…

帝国の高官にして、リコスの兄。感情を残せる代わりにサイミアの力が落ちるといわれる魂肉(サルクス)を食してなお、強大なサイミアの力を保持。さらに、言葉を操って物語ることにも長けているといわれる。泥クジラ殲滅に一度は失敗したものの、失脚せずに魂召会(エクレシア)を説得して再び殲滅作戦の指揮官となれたのも、ひとえにオルカの言葉が巧みだったことに起因する。

↑妹のリコスに対する感情は一筋縄ではいかないものがあるようだ。

Personality

冷たい刃の中にあるものは…

苛酷な策士。現在のオルカからは、そんな言葉が思い浮かぶ。しかし、かつては悲しみに打ち震える姿を見せたこともあった。どちらの姿がオルカの本当の姿なのか、今はまだわからない。

あれが 死神などと
わかりやすい男なものか

オルカは来るべき世界の構築に向け、魂形アンスロポスの奪取を目論んでいる。その奥に潜む真の目的はこれから明らかになっていくだろう。

Part

男が見据える 大変動後の世界

七つの帽子
十四のひとみ

トン
トン

二十八本の手足
八つのいのち…

天の絶望が聴こえないのですか？
天は降らすべき血の涙を爪の間に貯めている…

梅田先生のひとりごと

実はオルカが一番秘密があってお話ししにくいんですが（笑）。イティアが感情が出てきて、一番落としやすいタイミングで口説いたりするあたり、意外とせこい人物かもしれませんね（笑）。

泥クジラへの執着は何が目的なのか…

オルカ 戦いの記録

泥クジラ襲撃
失敗を書き換えて…

泥クジラ殲滅作戦に失敗したオルカだったが、将来訪れるであろう大変動に向けて泥クジラにいるデモナスを確保すべきと魂召会を説得。罪をアラフニになすりつけ、自らは失脚を回避する。

国を揺るがす大失態を巧みな言葉で乗り越える

周辺国が台頭してきている中、オルカは国民のさらなる感情統制を図ることで危機を脱すべきと主張。感情を抱く存在がいかに愚かであるかを、感情を持つ人々が暮らす泥クジラを殲滅することで明示し、感情を捧げるのを目的とするアンスロポスへの巡礼を徹底させようとした。しかし、オルカが推し進めた泥クジラ殲滅作戦は失敗。事実隠ぺいのため、魂召会に処分されそうになってしまう。

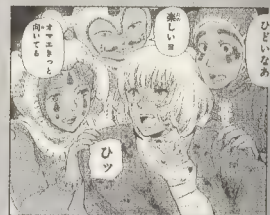
デモナス確保のために再び自ら陣頭指揮を取る

再び泥クジラ殲滅作戦の最高責任者となったオルカは、アパトイア軍団長官アツァリを脅迫するような形でカルハリアスの使用許可を得る。婚約者となったイティアを伴い、泥クジラのいるアモンロギアに向かったオルカは、デモナスの捕獲に成功するのだろうか…。

帝国-アモンロギア戦争
運命の再会は敵地で…

自らのサイミアを駆使してアモンロギアに侵入したオルカは、リョダリや虫籠隊などの部下を連れて上陸。ある任務を遂行するために敵地を進むオルカに、兄の暴走を止めようとするリコスが迫りつつあった。

オルカに仕える道化たち

オルカは自宅に無印の道化たちを住まわせている。なぜそんなことをオルカがしているのか理由がわかれば、彼の人間性を紐解くヒントになりそうな予感がするが…。

↑最初の泥クジラ殲滅作戦で生き残ったリョダリも道化の1人に。

リヨダリ Ryodari（印・12月21日生・15歳）

花が いっぱいだ
オレの中は
いっぱいだ
どうしようもない
こころでいっぱいだ
世界は狂ってる
オレのことなんて
誰にもわかるもんか

泥クジラに歪んだ愛を抱く魔性の道化

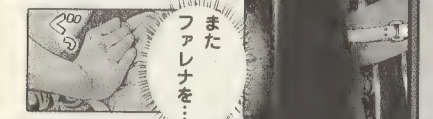
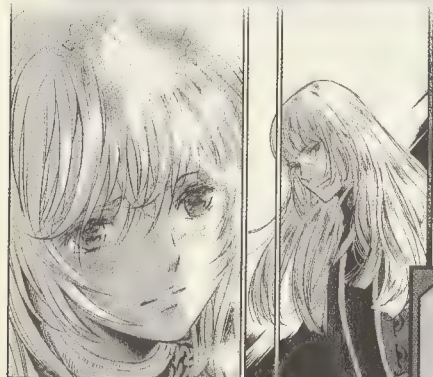
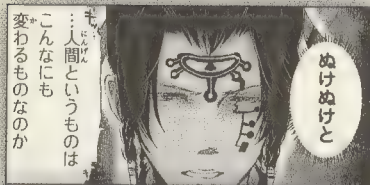
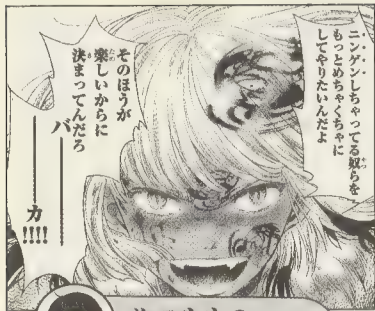
帝国の兵士であり、リコスとは幼なじみ。魂形（ヌース）に感情を捧げているのにもかかわらず、あふれ出る感情を制御できず、厄介者扱いされていた。また、感情が残っていたおかげで、家族から拒絶された悲しい過去を秘めている。その反動から、己の感情に対して感情で反応してくれる泥クジラの人々に対して、愛憎相半ばする感情を抱いている。

↑現在はオルカに拾われ、道化となって彼の護衛を務めている。

Personality & Part

感情に翻弄されるままに…

感情が豊かすぎるゆえ、家族に拒まれた過去から、感情への憎しみが非常に強い。それが感情を持つ人間に対する、強烈なまでの破壊衝動につながっている。

友よ 存分に泣いて笑って
怒り恐れてくれ…
お前らの感情はすべてオレのもの

梅田先生のひとりごと

リョダリは描くのが楽しくて、だんだんかわいくなってきたキャラなんです（笑）。だから今後について迷ったりもするんですけど、これまでにやばいことばかりしてますから…。いきなり改心していい子になっちゃっても面白くないですしね。

戦いの記録

戯れる相手を求めて

最初の泥クジラ殲滅作戦時、エマの手引きで生き残ったリョダリ。泥クジラの人々を破壊すべく、オルカの道化となって戦場へ舞い戻る。

ちゃんとあんたの
道化になる

だからオレに音をください ねえ ふふふふ…

イティア

Ithia（印・10月27日生・18歳）

書記官からオルカの妻へ

戦艦スキロスに搭乗していた女性書記官。泥クジラ殲滅作戦失敗後、オルカに引き取られる形で彼の側近となる。なお、イティアという名はオルカに妻になれと言われた際につけられ、「柳」という

アラフニ

Arafuni（印）

策にはまった悲劇の司令官

スキロスの総司令官。上官であるオルカを嫌っており、泥クジラ殲滅作戦ではオルカの指示を仰がず独断専行する。作戦失敗後、その行為をオルカに咎められ、作戦失敗の罪を着せられて射殺される。

パゴニ

Pagoni（印）

戦闘力の高いスキロス副官

泥クジラ殲滅作戦に、スキロスの副官として参加した武官。リコスをオルカの命令どおりに捕らえようとするが、リコスが歯向かったため、アラフニの命令に従ってリコスを殺そうとする。

アツァリ

Atuari（印）

アパトイア軍を率いる長官

オルカの元上官で、現在はアパトイア軍団長官を務める人物。オルカの以前とまったく違う様子や強引なやり方を警戒している。魂肉を常食しているため、会話時に金属音のような喘鳴が混じる。

ハルコス

Halukos

オルカを監視するお目付役

アツァリの甥。オルカの監視役として、副官のブルゾスとともに泥クジラ殲滅を目指すカルハリアスに送り込まれる。オルカのサイミアを目の当たりにし、彼が秘める危険性を再認識していた。

ハルコス君

…君はアツァリ長官の甥っ子だったかな?

言っておきますがアツァリ叔父上や魂召会はファレナになんか興味はない

あんな廃船や伝説上の悪霊など

ほしがってるのは変人のオルカだけかと?

ロハリト

Robarito

（3月24日生・17歳）

そなたにはわからぬ…
スオウ…
民たちすべてに愛され必要とされ
いつも満たされているそなたには…!!

劣等感にさいなまれ故国を離れた放浪の王子

アモンロギアを統べるダクティラの四男。兄たちと違って領地や爵位を与えられず、出来損ないの四男坊と噂されていた。そのため、世紀の大発見をしてすべてを見返すべく、放浪の旅に出た途中で泥クジラと遭遇。安息の地を求めるスオウたちの願いに応じ、故郷まで泥クジラを導く。しかしスオウたちは捕らえられ、結果的に彼らを裏切ることになる。

そのときこそ…
私は民であるあなたを何があっても守ります

↑同い年ながら指導者として立つスオウからは大きな影響を受けた。

王子のくせに そんな亡霊のような
姿をさらして恥ずかしくはないのか

…慣れている

この地で自分がちっぽけに感じることくらい…な

Personality & Part

傲岸さに隠された素顔

ロハリトの内面には、兄たちに対する大きなコンプレックスが秘められている。傲岸な態度を崩そうとしないのは、その反動が原因のようだ。

梅田先生のひとりごと

ダクティラはロハリトのことを出来損ないとちょっと思ってるんですけど、かわいくは思ってるんですよね。ちなみに後継者として期待してるのは次男のディクティスです。おバカですが（笑）。

誰もが驚くような大発見を持ち帰り…
これまでのすべてを見返してやりたいと…

戦いの記録

癒やしの舟を捨てて…

泥クジラとの旅、さらには時の塔で亡国の王子と接したことにより、ロハリトは徐々に成長。スオウを殺せと命じたダクティラに涙ながらに逆らったのは、成長のあかしといえるのかもしれない。

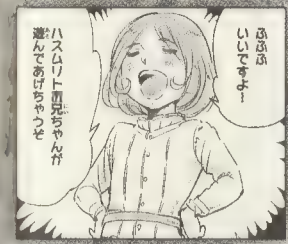
ハスムリト（17歳）

Hasumurito

ロハリトのおもちゃ？

ロハリトの側近の1人。ロハリトとは乳兄弟で、ガンヴァは祖父に当たる。一応、ロハリトのお目付役でもあるのだが、おもちゃにされることが多く、やんちゃな兄にいじられる弟という関係に近い。とても幼く見えるが、実はロハリトと同い年の17歳。

ガンヴァ

Ganvar

ロハリトを叱れるお目付役

ロハリトの側近でありお目付役。ロハリトが無茶した時にそれを抑え、たしなめ、叱ることができる人物。ダクティラの家臣であるとともに、造船所の管理経営もしており、ナノはそこの工員である。

フテルナ

Futeruna

大柄で怪力の女戦士

ロハリトの護衛の1人で、フォニの姉。大柄で力が強く、サイミアなしではギンシュでもまったく歯が立たない。

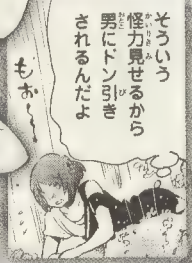
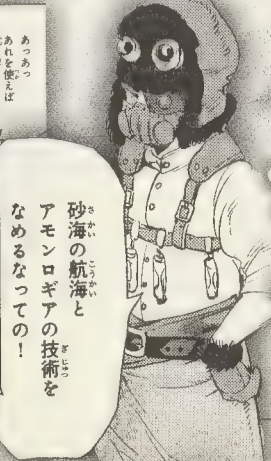
フォニ

Foni

姉思いの女剣士

フテルナの妹でロハリトの護衛の1人。惚れた男をすぐに理想化する姉の悪いクセを心配している。

ナノ

Nano

アモンロギアの技術者

ネズが師匠と仰ぐアモンロギアの技師。技術者としての腕は優秀だが、発明品へのネーミングセンスがなく、名づけ方がネズと似ている。

ダクティラ

Dakutira

アモンロギアの領主

アモンロギア公領の領主でロハリトの父親。泥クジラを忌むべき存在、魔性の船であると危険視している。そのため、泥クジラの民を受け入れる条件として、泥クジラをダクティラに譲り、印を兵士としてスイデラシア国王へ献上することを要求する。

アディヒラス

Adihirasu

動物好きな長男

アモンロギア家の長男でロハリトの兄。右目にかけているモノクル（片眼鏡）が特徴。動物好きで、いつもサルやウサギを抱いており、動物からも愛されているようだ。

ディクティス

Dhikuthisu

自分の髪の毛を愛する次男

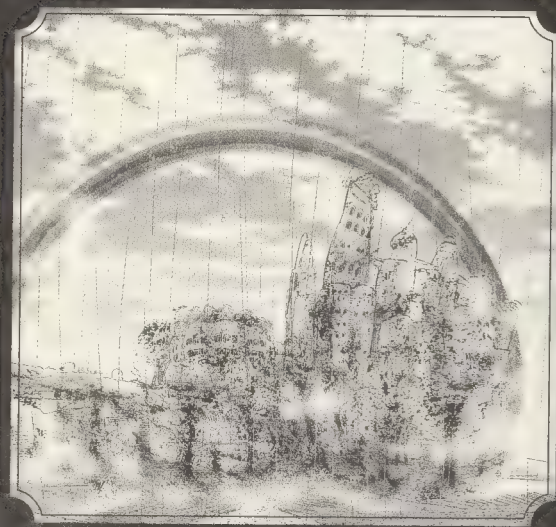
アモンロギア家の次男。強引で人の話を聞かないところがあり、スオウを男だと気づかずに妾になれと要求してくる。また、自分の髪に固執しており、「俺の髪はこの国の者全員で守れ」と言い切るほど。

パラメンソス

Paramessosu

兄弟一狡猾で計算高い三男

アモンロギア家の三男。好戦的かつ狡猾な性格をしている。スオウとダクティラとの会談の場でシュアンが暴れた際には、ためらうことなく人質に銃撃を浴びせ、シュアンの動きを止めている。

チャクロ先生の世界観講座

Mr. Chakuro's
worldview lecture

特別公開!!

クジラの子らは砂上に歌う

初期設定資料集①
キャラクター編

作品の連載が始まる前に梅田先生が描いた、チャクロとリコスの初期設定資料を紹介！
現在の設定と比べてみると新たな発見があるかも!?

砂が舞うので
海に出るときは
頭巾かぶる

砂をこぼり
する道具

泥の箱船に
暮らす少年。

能力者。
感情がコントロール
できないため、
みんなに
ふつかいされる。

少女の
第1発見者

漂流物を
拾うために
大きなポケットを
身につけている

不気味な島から
発見された少女。

兵士だったため、
全身鎧。

発見当初は
感情がなく
人形のようだが、
次第に人間性を
取り戻す。

部分的に
記憶を失っている。

チャクロ先生の世界観講座①

泥クジラのすべて

さまざまな人々が織りなす物語とともに、作品のもうひとつの魅力である世界観を、チャクロ先生を特別講師として迎え、紹介いたしましょう!!

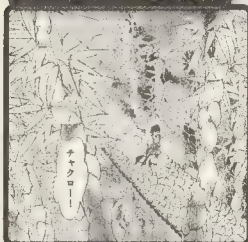
第2塔

↑首長や側近の人々が暮らすエリア。無印の人々の仕事部屋もこのエリアに用意されている。

体内エリア

↑規則違反者が幽閉される、中央内部にある広い地下スペース。ここではサイミアが発動しない。

ヒゲ広場

↑いくつかある泥クジラの出入り口の中で、最も神聖とされる広場。葬儀や集会がここで行われる。

中央塔

↑長老会に所属する人々の居住エリア。会議室もこのエリアにある。

オオマサゴチクの林

→専門塔の中庭にある林。たけのこが1年中収穫できる。

農園&貯水池

→砂の海から採取された土を使用した農場。雨水は地上の貯水池と地下タンクに蓄えられる。

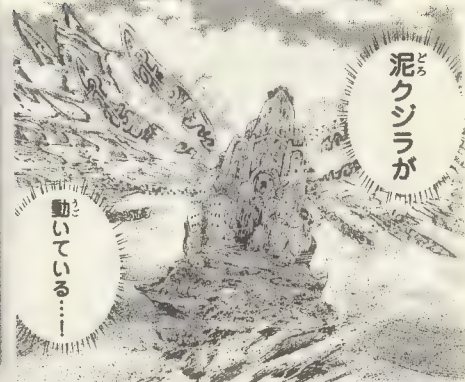
専門棟

↑工房や医務室など、各専門分野の施設がまとめて入っているエリア。

居住区

←泥クジラの人々の居住エリア。親を失った子供たちは、それぞれ班を作って共同生活をしている。

泥クジラの操舵

もともと泥クジラは罪人を乗せた流刑船だったため、舵に当たるものが存在しなかった。しかし、チャクロがオリヴィニスから得たアンスロポスのコカロが、舵の役割を果たすことが判明。直後に印たちが見た夢の中で謎の少女が船の動かし方を示し、行

↑→エマがコカロに秘められていた舵としての役割を明示。コカロが力を解放した状態で印たちが祈りの歌を吟じると、泥クジラは印たちが祈った方向に進む仕組みになっている。

泥クジラの動力

泥クジラを浮かべる動力源は、体内エリアの立ち入り禁止区域にあるヌース・ファレナ。感情を食べる帝国のヌースと異なり、ヌース・ファレナは印の命を餌としている。この秘密は広まると泥クジラが大混乱に陥るため、今も長老会やスオウ、チャクロなど一部の人間にしか知られていない。

↓泥クジラにいる印は命を食われ、体力とサイミアの力が徐々に低下。30歳程度で亡くなってしまう。

↑ヌース・ファレナを母体とするエマとネリ。2人はヌース・ファレナにとって、生物における血のような役割を果たしていると思われる。

奥深くに眠る禁忌の場所
ミゼンの部屋

第2塔の根元から入り、複雑な迷路を越えた先にミゼンの部屋がある。帝国で封印されたはずのデモナスの繭がここで生み出されるほか、過去の首長が記した膨大な泥クジラの記録が残されている。

チャクロ先生の世界観講座②

泥クジラの文化

ここからは歴史や生活の様子など、泥クジラの文化を紹介していきます。…大丈夫ですか? 俺の説明、ちょっと硬かったりしてませんかね?

歴史

悲しみに彩られた隠匿されし過去

帝国の感情統制に反対していた活動家を捕らえ、命を食らうヌース・ファレナのいる船に乗せて砂の海に流したのが泥クジラの始まりだった。当初はズィオが首長を務めていたが、スパイのエカトを悲しみのうちに処刑したのをきっかけに精神が衰弱。自ら生んだミゼンとともに悲劇に見舞われるという悲しい歴史を秘めている。

…モナスを生み出す一族の末裔で、のち…代首長となるズィオも収容された。

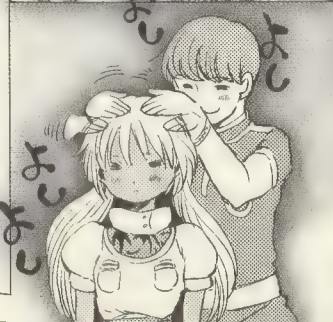
↓→デモナスのミゼンを生んだズィオは、のちに絶望して自殺。ミゼンも若きビャクロクに自ら討たれた。

組織

長老会が実権を握る

500以上の人々が暮らす泥クジラでは、無印の老人で構成された長老会が為政権を掌握。そのため、人々を表立って導く首長には何ら決定権がなく、あくまで象徴としての役割が求められる。また、自警団も首長の指示では動かず、長老会の指示に応じて行動する仕組みになっている。

泥クジラの組織図

- 長老会
  - 首長
  - 自警団
    - 住民

長老会

無印は61歳以上になると、全員が長老会に所属。その時、泥クジラのなりたちや命を食らうヌース・ファレナのことを聞かされ、以後はその秘密を守りとおすのが最大の役割となる。

首長

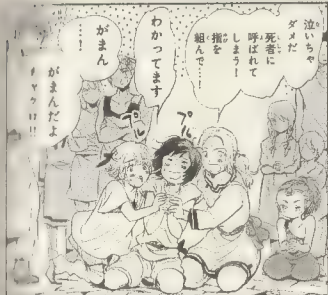
印たちが短命であることを恐れずに生きられる楽園を守るうえで、最適な人物を長老会が指名。首長には「印のための無印」の象徴として、一生を印のために捧げようと自然に考えられる人物が選ばれる。

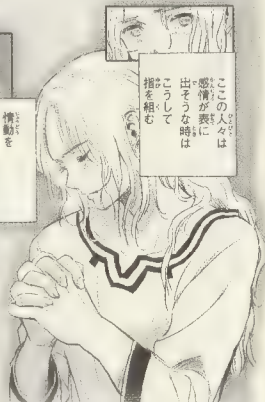
自警団

泥クジラの平穏を守ることを第一の役割とする印の集団。メンバーは裾の長い上着を着ているのが特徴で、棒や弓矢を武器として使用する。

信仰

砂でつながる死者との関係

死者を砂の海へ流す泥クジラでは、死者の魂は砂の海へ溶けたのち、砂の粒となって泥クジラの人々を守ると信じられている。その後、長い時を経て砂が崩れると、死者の魂は昇天。以後は空の色の膜となり、太陽や星が落ちてこないように支える役目を担うという。

↑葬儀の際、涙を流した者は砂の底に眠る魂に呼ばれて早死にするといわれる。

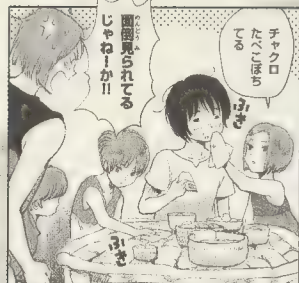
←↑砂の一粒一粒に死者の魂が存在しつづけており、雨は天に召された魂の流した涙とされている。

↑感情抑制の際に行う「指組み」は、もともとは感情からこぼれる情砂が爪の間から流出するのを防ぐための仕草だった。

故人を迎えるスナモドリ

毎年行われる砂かけ合戦の祭り、それがスナモドリだ。この祭りには砂に溶けていた死者の魂がかけられた砂を通して、人々のもとに戻るといういわれがある。

生活

数多くある独特の文化

砂の海に囲まれた状態で物資が乏しいため、泥クジラでは食料や生活用品を厳しく管理。調達した食料は徹底して平等に分配するなど、無印の指導者たちは過酷な生活で不満が出ないように細心の注意を払っている。その結果、泥クジラ独自の文化が徐々に形成されていった。

↑印が短命のため、遺児たちが共同生活をしているのも泥クジラならでは。

衣服

衣服は何度も縫い直して着回されるのが通例で、各自が所有する衣服は少ない。ただし、砂よけマントは必ず1人1枚支給。

食料

食料は農場で生産して補給。他にも砂の海に生きるスナカブトを家畜として飼育している。スナカブトの卵は美味で栄養価が高い。

また、ミルクのような甘さを持つオオマサゴチクのたけのこも大事な食料だ。

厳しい管理下にある貴重品の塩

塩は漂流中の廃船から得たものと、岩塩の島から採取したものを細々と使用。1人に与えられる量は[illegible]と厳しく決められている。

サイミアとは？

次はサイミアの説明です。…俺の記録は退屈だって言われたことがあるので、解説もそうだったら遠慮なく指摘してください。

泥クジラの中では印だけが持つ情念動

感情を発生源とした念力をサイミア（情念動）という。サイミアを使うと、その人物の体表や頭上にアウラ（念紋）という模様が現れる。

↑アウラの面積は人によってまちまち。これが大きいほど、発動者のサイミアの力が強いといわれる。

→印はヌース・ファレナに命を食われる代わりに、大きなサイミアの力を与えられる。

泥クジラにおけるサイミアの源は…

帝国の人々と比べて泥クジラで暮らす印のサイミアの力が強いのは、ヌース・ファレナが大きく影響している。

↑ヌース・ファレナのおかげで、子供でも大人並みに武器を使いこなせる力を得ている。

サイミアの使い方

人体に影響を与えられないサイミアの力は、主に砂の海での狩りや物資調達に使われていた。帝国の襲撃後は、武器を使うための戦闘能力として考えられている。

↑ササ舟を浮かせるには全力疾走と同程度の体力を消耗するという。

↑↓武器を使う際の補助能力となるほか、防御にも役立つ。

→印の子供たちは幼い頃からサイミアの使い方を学習。印の年長者が教育係を務め、サイミアで物を動かす方法を教える。

泥クジラの人々以外にサイミアを使いこなす人物はいるのか？

帝国の人々はサイミアの力を使いこなせるため周辺の国々から魔術を使うと恐れられている。帝国以外にもロハリトのような印はいるが、サイミアの力はない。

チャクロ先生の世界観講座④
デモナスとは？

デモナスは帝国で禁断とされる伝説の兵士です。オウニがデモナスではないかといわれていますが、確実なことはわかりません。

帝国で封印されたはずの伝説の魔神

地上に大変動を起こした「カサルティリオの雨」ののち、帝国が覇権掌握のために創ったのがデモナスである。ただ、魂形を滅ぼす力があったため、過去に封印された。

↑堕落した「魂形の御使い」とも称されるデモナスは、魂形の力によって生み出されるといわれている。

←デモナス創生を使命とする一族が存在する。

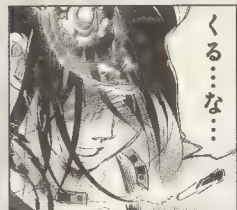
↓デモナスのサイミアは人体にも影響を及ぼすことができるのが特徴。

↑デモナス創生には、鍵や天使の繭などが必要とされる。

オウニは本当にデモナスなのか？

オウニがスキロスの魂形を破壊したため、オルカは彼をデモナスと断定。強大なサイミアを目の当たりにしたアモンロギアでも国を滅ぼす「魔王」と恐れられた。オウニはデモナスであることが濃厚だが、確証を得るまでには至っていない。

↑本来ならばサイミアを使えない魂形の周辺でも、オウニは自由に使用できた。

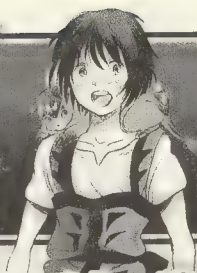
←オウニの周囲に漂うウイジゴケは、ヌース・ファレナが得た印の命をデモナスに届ける役目があるという。

↑謎の痣や首飾りなど、デモナスとの関係を感じさせるものも多い。

シュアンに秘められた謎とは？

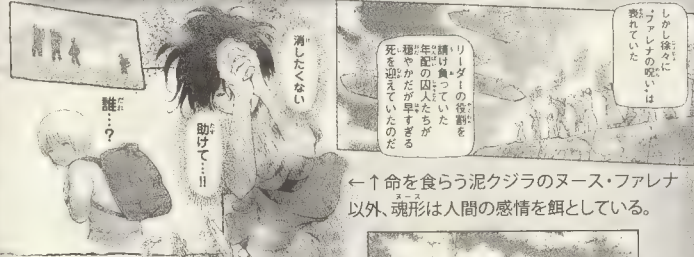
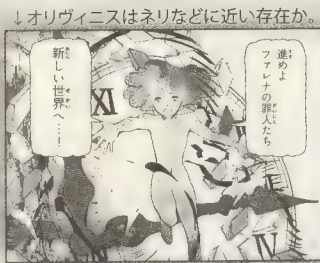
シュアンはヌース・ファレナが食べてきた命と合成させることで、人工的に創られたデモナスといわれる。ただ、誰が何のためにシュアンへそのようなことを施したのかわかっていない。ビャクロクは何か知っているようだが

チャクロ先生の世界観講座⑤

魂形とは？

魂形はカサルティリオの雨の時に降りそそいだ、神がちぎった体の一部といわれていますが、まだ、わからないことが多いんです。

神の体とされる謎に満ちた存在

魂形はぶよぶよとした見た目の物体で、内面に意志が存在するのか不明である。ただし、ネリやエマのように血と呼ばれる存在が、魂形本体に代わって人間に自分の意志を伝えているようだ。

↓オリヴィニスはネリなどに近い存在か。

←↑命を食らう泥クジラのヌース・ファレナ以外、魂形は人間の感情を餌としている。

↓→かつて泥クジラが遭遇した時の塔にも魂形が存在したといわれる。下は母体の傷を癒すため、ヌース・ファレナと同化するネリ。

帝国における魂形の役割

かつて神は感情のままに生きる人々に幻滅、大変動を起こして地上を洗浄した。それがカサルティリオの雨といわれる出来事で、災厄から生きのびた人々は帝国を形成。魂形を神として崇め、最大の魂形といわれる魂形アンスロポスなどに感情を捧げるようになった。

←戦艦リコスにあったヌース・リコス。これを含め、帝国には魂形が8個存在する。

↑帝国ではカルハリアスのような巨大戦艦の動力源としても魂形を活用している。

→魂形アンスロポスの一部で、感情を取られる量を抑えられる魂肉は特権階級にしか与えられない。

→魂形アンスロポスに自分の感情を捧げる行為を、帝国の人々は巡礼と称する。

魂形と石守主はルーツが同じなのか

[illegible]の神・石守主は死に身の神、魂形は生き身の神であり、もとは同じ存在だったのではないかと領主のダグ…は推測していた。

ハスムリト ~~チャクロ~~ 先生の世界観講座

泥クジラをとりまく世界の情勢

ロハリトさまに代わりまして、ぼくが泥クジラを取りまく世界を解説しまーす! ちゃんと聞いてくださいねっ。

ふふふ いいですよ!
ハスムリトお兄ちゃんが教えてあげちゃうぞ

帝国

国を牛耳る皇帝と魂召会

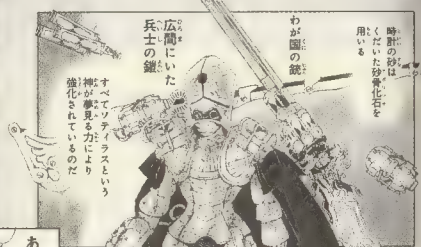
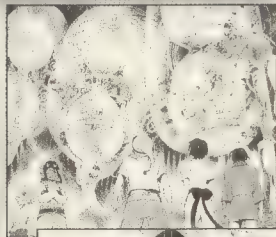
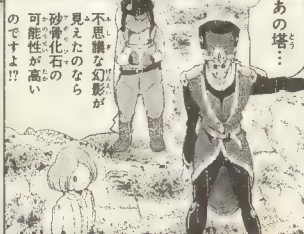
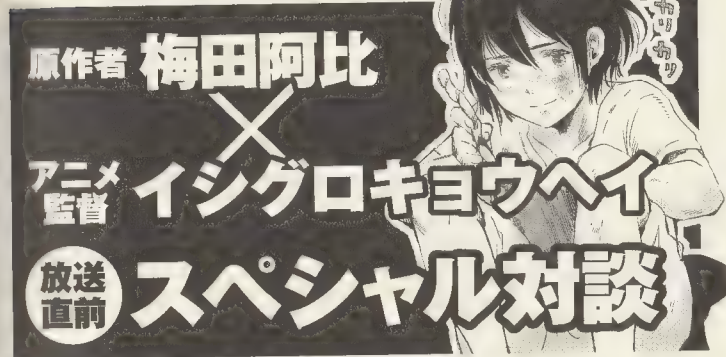
リコスの故郷である帝国は、印が魂形アンスロポスに感情を捧げながら暮らしている。また、皇帝がトップに君臨し、その下に最高議会として魂召会が存在。一部の階級は名前を持つ、感情を残しておける魂肉を得られるといった特権を有している。基本的に民衆は名前を持たず、番号やオルカのように動物名を通称としているようだ。

←兵士はアパトイアと呼ばれる感情のない人間が主力。案山子というロボットのような兵器も存在している。

↑魂召会のメンバーは全員が仮面をつけているのが特徴。仮面にはそれぞれの持つサイミアと思しき模様が描かれている。

アモンロギア

沈みつつある砂上の都

アモンロギアはスィデラシア連合王国に属する島国で、砂の海の侵食で土地が年々減りつつある。そのために連合の援助を受けなければならない立場にあり、領主のダクティラは泥クジラの印を兵士として派遣することで、援助要請を円滑に進めようと考えていた。

←↑砂時計エネルギーを使って道具や兵器を強化する技術はアモンロギアならでは。

→砂時計エネルギーの器の中には、砂骨化石を砕いた砂を封入。この砂はソティラスの砂と呼ばれ、砂時計の中で砂が見ている夢をエネルギー源としている。

——監督はこの作品をご存知でしたか？

イシグロ：梅田先生の前で言いにくいのですが、存じあげなかったんですよ。お仕事をいただく時は、自分から「この作品がやりたい」と言うよりは、「こういう作品のアニメ化を企画してるんですけど、監督どうですか？」ってプロデューサーの方々から提案をいただく形が多いんですね。『クジラの子らは砂上に歌う』（以下『クジラ』）もその形でお話をいただいて、単行本を読ませてもらったんです。その時は6〜7巻くらいまで出ていたかな？　他の仕事もあったんですが1日で読んじゃいましたよ（笑）。そのくらい素晴らしい原作で、これは誰にも渡したくなかったので、すぐに引き受ける返事をしましたね。

——原作を読まれてみてどうでしたか？

イシグロ：ファンタジー作品は好きなんですが、自分が監督するものとしてはあまり触れないんですよ。だから、単純に普段触れていないものの新鮮さは感じますよね。砂の海とかもそうですが、閉じた世界のようでいて、その奥には違う世界が広がっているんだな、と見た瞬間にわかる画力はすごいですよね。『クジラ』はガチの王道ファンタジーですから（笑）。

——『クジラ』の世界観はかなり特殊だと思うのですが、アニメでその世界観を表現する際に苦労した点はありますか？

イシグロ：細かいところですが、泥クジラでの生活の基盤などのインフラ関係ですね。特に光があるかないかは大きくて、アニメって特殊な演出でもない限り、すべてに色がつくんです。例えば僕らは常に明かりに照らされて生活をしていますが、泥クジラの世界では日中とはいえ、必ずしも明るいわけではないんですよ。だから窓から明かりを取ったり、暗くなればロウソクで明かりを取ったりして生活してると思うんです。アニメでは、窓やロウソクからの光源に合わせて影をつけていく作業は大変でしたね。その光源の元だったり方向だったりで影の面積が変わり、演出も変わってくるので、スタッフ間でそのコンセンサスを取るのに苦労しました。『クジラ』は明るいところと暗いところが明白に変わるので、色のチェックとかは特に大変ですよ。でもその方法で絵作りしていくと、いわゆる高級な感じの画面作りになるんです。ちなみに漫画の時、光源などはどうしているんですか？

梅田：漫画はキャラクターの心情などによって明るさが変わってしまうので、アニメほど気にしていないかもしれません（笑）。

イシグロ：トーンの番号を変えたりはするんですか？

梅田：単純に何番を使うって決めてはいるんですが、影は濃いか薄いかの2種類しかないんですよ。

イシグロ：アニメはホントに多いですよ。シーンごとに美術ボードというもので基準となる色の雰囲気や光源、光量などを決めていくんです。それに合わせてキャラクターの色も全部変えていきます。もともとの基準がノーマルの色だとすると、時間帯が早朝、日中、浅い夕方、普通の夕方、深い夕方、夜などがあり、それに合わせて全部作るので、すごいことになりますね。

梅田：キャラクターが多い分、その色分けなどが大変なんですね。

——監督がお気に入りのキャラクターはいらっしゃいますか？

イシグロ：公言するのはためらわれるんですけど、チャクロです。

梅田：チャクロのどの辺が好きなんですか？

イシグロ：僕が監督をしているからかもしれませんが、主人公だからですね。今後を含めてチャクロがどう思っ

て、どう行動していくかはやっぱり気になりますから。だから、どんどん感情移入していくんです。アニメでなく、単純に原作のファンとしてならば断然ギンシュですね。ギンシュはいいですよ（笑）。命のやりとりがある中で、あんなふうに生きていける人がいるのはいいですね。

梅田：ギンシュはメンタル最強ですからね（笑）。

イシグロ：男っぽいところもありつつも、やっぱり女の子だなって思わせる部分もあって、そこがギンシュの魅力だと思います。

梅田：泥クジラのムードメーカーですからね。

イシグロ：作中でもそういう役割ですよね。ギンシュがいないと辛いですよ。いやホントに（笑）。

梅田：ホントは彼女も悩んでいるんですけど、あはは、人がいないとね。

――先生がお気に入りのキャラクターはいらっしゃいますか？

梅田：ハムですね。動物キャラが好きなので。

イシグロ：ハムもアニメの現場でもかなりの人気ですよ。

梅田：「ハキュッ」って声がすごく可愛かった（笑）。

イシグロ：人間の言葉はしゃべらないけど、人間の感情を理解し、ちゃんと心情があるような。

梅田：アニメでは寄り添っている感じにしていただいているので、すごく可愛いです。収録の現場でハムが「ハキュッ」って言うたびに身悶えしてました（笑）。

イシグロ：鳴き声の想像はしていましたか？

梅田：あんなに可愛いとは思っていなかった。

イシグロ：ちなみにハムは何か題材にした動物はいるんですか？　もしかしてカワウソ？

梅田：カワウソです。最初はカワウソだったんですけど、だんだん太ってきてしまって（笑）。

イシグロ：今やお腹がぽんぽんで、タヌキっぽいですよね。

梅田：先日、久しぶりにカワウソを見たら顔がほっそりしていて、ハムとは似ても似つかない別の生き物でした（笑）。

――先生が描いていて、楽しいキャラクターはいらっしゃいますか？

梅田：リョダリですね。自分の真逆というか、絶対に自分じゃやらないことや言わないことを言うキャラですから。だからリョダリもアニメで動くのは楽しみですね。

イシグロ：僕は最初、リョダリを女性の役者さんにお願いしようと思っていたんです。何となくなんですけどね。でも山下大輝君のオーディションの声を聞いたら、山下君しかないなって。彼はリョダリのようにぶっ飛んだキャラの芝居がうまくて「遊園地に来たつもりでやってます！」って言いますからね（笑）。彼の中ではファレナ＝遊園地的な場所であり、楽しくてしょうがないみたいですよ。

梅田：実に正しい解釈だと思います。

イシグロ：子供っぽさを残すというか、子供だからこそ怖い部分、画でもそうですけど、それを声で表現するとまったく違ってくることもあるんです。山下君はその部分の表現の仕方がうまかったですね。自分で言うのも何ですが、リョダリに関してはナイスな配役だったなと思います。

――梅田先生、原作の今後の展開について少しだけお聞かせ願いますか？

梅田：あまり言えませんがオルカ直属の虫篭隊が出ましたが、また別の部隊が出現しますし、新キャラもたくさん登場します。あとオウニも大活躍です。

イシグロ：新キャラといえば、虫篭隊は出てきてすぐに死んじゃいましたよね。これはいい意味でですが、先生の新キャラでも容赦のない感じがすごいですよね（笑）。キャラを殺すのは思い入れが強くなればなるほどできないですから。

梅田：死なせる時は「仕方ない」って考えもあるから割り切ってできるんですけど、いざ死なせてみてから気になってしまうことが多くて（笑）。

イシグロ：1巻の最後では僕も衝撃を受けたキャラクターの死があるわけですが、あれは最初から決まっていたんですか？

梅田：最初に考えた時は死なせるつもりではなかったんです。そのつもりがなかったから、急に死んじゃった感じになったのかも…。最初から死なすつもりで描くと、その死にそう感が読者にも伝わっちゃうんですよ。

――アニメの見どころを教えてください。

イシグロ：梅田先生からの要望も踏まえて、アニメとして気持ちのいい終わり方にするための仕掛けを施しています。これは僕から提案させていただきましたが、[illegible]いるキャラクターが原作とは真逆の判断をすることで、原作とはまったく違った流れになります。原作ファンも納得できる、アニメならではの展開を用意していますので、期待していてほしいですね。

――先生的にはアニメの見どころはどこだと思いますか？

梅田：私はアクションシーンを描くのが得意ではないんですよ。だからアニメではそこをうまく補完してくれているので、アクションシーンが見どころになるんじゃないかなと思います。

イシグロ：アクションシーンは原作より盛っている部分はあります（笑）。サイミアの設定なども生かしつつなんですけど、剣撃をする時に参考にしていたのは『鬼平犯科帳』なんですよ。原作のアクションシーンが、日本刀のような片手剣の片刃で描かれていたんですよ。だからPV第2弾のオウニのアクションシーンは、日本の時代劇の太刀使いに近いですよ。スピード感とか斬られようとか、その辺は日本人であることを意識していますね。

梅田：そうなんですよ、私も日本人だと思って描いていますから（笑）。

イシグロ：僕はそれを聞いていなかったんですけど、何となく読むとわかりますよね。日本っぽいというかアジアっぽい雰囲気がありますし、だからこそヨーロッパで『クジラ』が人気なのもわかるんです（※）。僕は海外で現地のファンに話を聞いたりするんですけど、彼らによると海外の人たちがどう考えても生み出せないものを日本人が作っているようなんですよね。『クジラ』はファンタジー作品ですけど、あの世界観はヨーロッパの人々には思いつかないみたいなんです。

梅田：その話は意外でしたね。私は日本人が作っているファンタジーは、全部西洋からの影響を受けているものだと思っていましたから（笑）。

イシグロ：日本のファンタジー作品を海外の人たちが見た時、自分たちが生み出したものが、明らかに自分たちとは違う文法で作られているところに惹かれるようなんです。梅田先生の発想は、海外では生み出せないと思いますから。逆にファンの方から「和を感じます」などの感想はありませんでしたか？

梅田：チャクロとオリヴィニスとの対話の中で花火が上がるシーンがあるんですけど、あまり聞かないですよ。たぶん日本人だから花火にしても、普通の風景と捉えてしまい、際立って「和だ」とは思わないんでしょうね。

イシグロ：そうかもしれませんね。

梅田：私は以前に『幻仔譚じゃのめ』という民俗学系のファンタジーを描いていたので、泥クジラの文化とかスナモドリのシーンとかには、土着感があるとは言われるんです。

イシグロ：人の魂はどこに宿っているかというのは、それこそ西洋の考え方じゃないですよね。砂の中に魂というか人の命が溶け込んでいるという発想は、思いつかないハズです。だからこそ、生み出せないものを生み出している人たちに対するリスペクトという意味もあると思いますし、アニメや漫画がその立場にあるということだとも思うんです。

――最後にファンに向けてお2人からのメッセージをお願いします。

イシグロ：ファンの方には、自分の中で想像するアニメが頭に中にあると思うんですけど、それを裏切らないような形で僕たちも頑張って、スタッフ一丸となって作っているので、放送までポジティブに待っていてくだされば、と思います。

梅田：アニメになることによって親しみやすさが増すと思うので、『クジラ』を知らない方にぜひ勧めてほしいと思います。

※P142参照。

ますます広がる「クジラの子ら」の世界

"Whale Calves" world
which spreads increasingly

特別公開!!

クジラの子らは砂上に歌う

初期設定資料集②
サイミア設定の原型となった
アイデアメモ

[illegible]はどんな力なのか、そのベースとなったアイデアメモを紹介！
紋様の表れ方など、現在の設定と異なるところに注目!!

ステキな 彫浪

能力者に現れる身体の模様。
この面積が増えていくと
寿命が近い。
個人でもようが違っている。
あざやイレズミのようだが
増えるときはちょっとカユイので
なんとなくわかる。

主人公とはおさななじみの
少女

超能力、発動

なにが [illegible] の呼び方

能力発動時、
身体のもようが
一時的に消え

発動!!

ピカーン

頭上のもようが
光を発し
能力発動です。

ガシーン

頭上に現われます。
(もようはつなぐと
ひとつながりの何かの
形になっています。
イレズミみたいな…)

「砂の海」の世界がステージに出現!
舞台『クジラの子らは砂上に歌う』

『舞台クジラの子らは砂上に歌う』は2016年4月14日～4月19日、東京・渋谷のAiiA 2.5 Theater Tokyoにて全8ステージが公演された。口コミやリピーターの増加などで観客動員を伸ばし、千秋楽は満席の観客からスタンディングオベーションを受ける中、幕を閉じた。当初予定されていなかった舞台DVDの発売が観客からの熱い要望に応じて急遽決定されたことなどでも話題となった。

俺たちの冒険が舞台に!!

俳優や演出家によって作り上げられた各キャラクターは、原作ファンからも「まさにキャラクターがそこにいた」と評判に。

[メインキャスト]

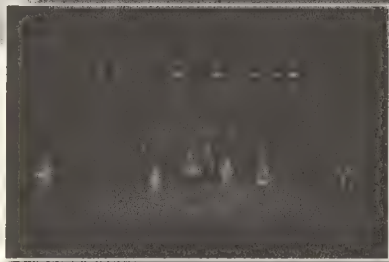
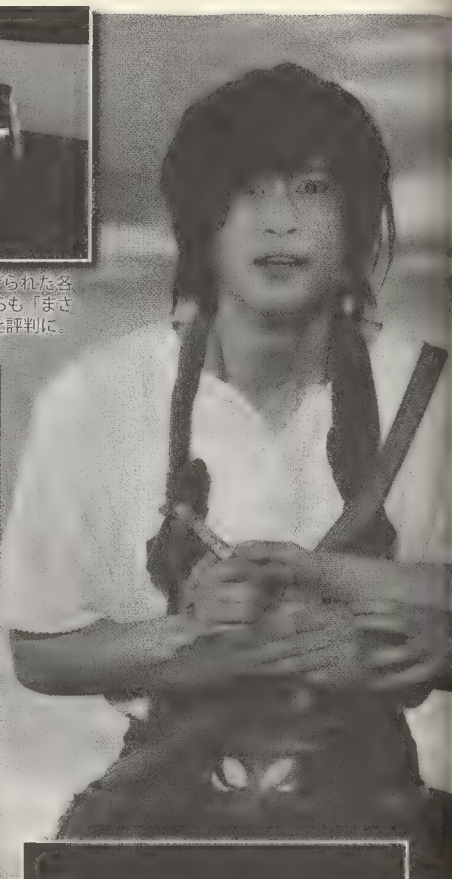
チャクロ：赤澤 燈
リコス：前島亜美
オウニ：山口大地
スオウ：崎山つばさ
リョダリ：碕 理人
オルカ：佐伯大地
サミ：宮崎理奈(SUPER☆GiRLS)
ネリ＆エマ：大野未来
団長：五十嵐麻朝

[スタッフ他]

脚本·演出：松崎史也
音楽：Yu(vague)
テーマ曲：「スナモドリ」(vague)
挿入歌：「日記」(如月愛里)
運営：
サンライズプロモーション東京
主催：
エイベックス·ライヴ·クリエイティヴ
オフィスエンドレス
サンライズプロモーション東京

[情 報]

● 舞台公式HP:
http://kuji-suna-stage.com/
● 舞台公式twitter:
@kuji_sunaST
※情報は舞台上演当時のものです。

※DVDは期間限定受注生産で現在は販売されていません。

演劇ならではの演出で『クジラ』の世界を舞台上に表現。ことにアンサンブルを使ったサイミアの演出は秀逸で舞台を盛り上げた。

俺たちの冒険がアニメにもなる

クジラの子らは砂上に歌う

Children of the Whales

『クジラの子らは砂上に歌う』が10月より待望のアニメ化！　監督は『四月は君の嘘』などで監督を務めたイシグロキョウヘイ監督、制作は『とある科学の超電磁砲』などでおなじみのJ・C・STAFF。声優陣は、チャクロ役を花江夏樹さん、リコス役を石見舞菜香さん、オウニ役を梅原裕一郎さんが担当。ここでは、10月からの放送に先駆け各キャラクターの先行ビジュアルカットと担当声優さんのコメントを紹介する。

放送

2017年10月より放送開始!!

TOKYO MX、サンテレビ、KBS京都、BS11

配信

Netflixにて配信開始!!

2017年10月 日本
2018年 全世界

キャスト

チャクロ：花江夏樹
リコス：石見舞菜香
オウニ：梅原裕一郎
スオウ：島﨑信長
ギンシュ：小松未可子
リョダリ：山下大輝
シュアン（団長）：神谷浩史

スタッフ

原作：梅田阿比（秋田書店「月刊ミステリーボニータ」連載）
監督：イシグロキョウヘイ
シリーズ構成：横手美智子／キャラクターデザイン：飯塚晴子
美術監督：水谷利春（ムーンフラワー）／色彩設計：石田美由紀
撮影監督：大河内喜夫／編集：後藤正浩（REAL-T）
音響監督：明田川 仁／音楽：堤 博明／アニメーション制作：J.C.STAFF
製作：「クジラの子らは砂上に歌う」製作委員会

公式サイト www.kujisuna-anime.com

公式ツイッター @kujisuna_anime

各声優陣からのファンへのメッセージ

［写真］左から：島﨑信長、梅原裕一郎、花江夏樹、石見舞菜香、山下大輝（敬称略）

——10月の放送に向けてアフレコが始まっていますが、収録現場はいかがですか？

■チャクロ役：花江夏樹さん

独特の雰囲気の作品なので最初は緊張しました。収録では泥クジラで生活するチャクロの揺れ動く感情を汲み取れるように気をつけました。現場の空気はとても明るくて毎回アフレコ後にみなでご飯に行ったりしています。

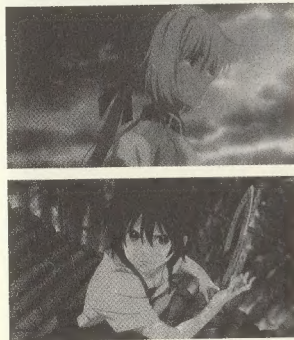
■リコス役：石見舞菜香さん

ガチガチに緊張していた私を、周りの方々が暖かく支えてくださり、とてもよい雰囲気で収録させていただいています。緊張感のある現場ですが、先の展開についてのお話で盛り上がったり、休憩の時間はとても和やかです。

■オウニ役：梅原裕一郎さん

収録後、みんなでご飯に行ったりと、和気あいあいとした雰囲気です。また、作品の雰囲気に合った、キャストのみなさんの繊細な演技に毎週刺激を受けます。

■スオウ役：島﨑信長さん

アフレコ、とてもよい雰囲気で進んでおります。毎回、「ここいいよね」とか「この先が楽しみ」など、作品の話で盛り上がっている現場です。収録が進むほど、より作品の世界に引き込まれ、登場人物た

ちへの愛着もより深まっております。

■リョダリ役：山下大輝さん

リョダリは主人公チームにとってすっげーやな奴なので、悪い奴がきたぞー!!（笑）といじられます。だから僕も、襲っちゃうぞー！　と明るく返します！（笑）そんな楽しい現場です！

——番組をご覧いただくみなさまへメッセージをお願いいたします。

■チャクロ役：花江夏樹さん

一言では語りきれませんが、見れば見るほど引き込まれる作品だと思いますので、ぜひ放送を楽しみにしていてくださいね。

■リコス役：石見舞菜香さん

一度見たら止まらない、残酷でありつつもとても美しいお話です。私自身、原作を読ませていただいてファンになった1人です。この作品を、リコスを精一杯愛しながら演じていきたいと思いますので、ぜひ楽しみにしていてください！

■オウニ役：梅原裕一郎さん

希望に向かってそれぞれのキャラクターがどう行動するのか、そこが見どころだと思います。梅田先生もおっしゃっていましたが、すべてのキャラクターが主人公であり、群像劇となっています。そんな物語を楽しんでいただければと思います。

■スオウ役：島﨑信長さん

原作が大変面白いのですが、その原作の素敵さを、アニメ作品としてこれまた素敵に落とし込んだものになっていると思います。『クジラの子らは砂上に歌う』の世界にどっぷりと浸っていただけたら幸いです。そして世界を彩り形作る、背景や音楽にもぜひ注目してみてください！

■リョダリ役：山下大輝さん

この作品には「サイミア」と呼ばれるいわゆる超能力のようなものがあってファンタジー好きの僕としては、映像でどう表現されるのかとても楽しみです。敵側をこんなにしっかり演じさせていただくのは初めてなのでいろいろ全力でチャレンジをさせていただいております!!

世界に広がる『クジラ』ワールド！

『クジラの子らは砂上に歌う』はすでに台湾版、フランス版が刊行されていて、フランスでは2017年、「Japan Expo Awards」の「青年漫画部門Daruma」と、フランスの中高生が選ぶ「Mangawa賞」の青年漫画賞の2つの賞を受賞して欧州で注目を集めています。さらに今後も北米版、ドイツ版、イタリア版、韓国版の発売も予定されています。インターネットなどを通じて世界の人々と『クジラの子らは砂上に歌う』の魅力について語り合える日も近いかもしれません！

台湾版
第1巻カバー

アメリカ版
第1巻カバー

フランスでは各賞を獲得して中高生の注目の的に!!

梅田阿比の好評既刊！

■発行：秋田書店　■新書判

【ボニータ・コミックス】

『クジラの子らは砂上に歌う』①～⑩巻

舞台化、アニメ化で話題沸騰！
少年少女、決死の砂漠戦記！

『裸足で、空を掴むように』（梅田阿比短編集）

ファン待望の梅田阿比初の短編集！
『クジラの子らは砂上に歌う』を描いた異端作家、その"魂の記録"。

<書籍扱いコミックス>

「俺俺」（原作：星野智幸）

大江健三郎賞受賞の不条理小説『俺俺』をコミカライズ!! なりゆきでオレオレ詐欺をした俺の前にもう一人の〈俺〉が現れて…!?

【少年チャンピオン・コミックス】

『幻仔譚じゃのめ』全⑦巻

父親の再婚で、古い伝承が残る町"神緒"に越してきた朝灯。新しい家族との出逢いから始まる、妖しく、艶やかな不思議な物語。

【プリンセス・コミックス】

『ブルーイッシュ』全②巻

3人だけで暮らす兄妹は出来損ないのサイキッカーズで…!? せつなさとはかなさが絡み合うセンチメンタル・ストーリー!!

編集協力
株式会社リベロスタイル（榎本雅一・山崎聡）
月刊ミステリーボニータ
デザイン
【カバー】KOMEWORKS 木緒なち
【本文】有限会社グラパチ（谷水亮介・花村浩之）
株式会社リベロスタイル（田村誠）

BONITA COMICS

クジラの子らは砂上に歌う
公式ファンブック

秋田書店出版部（監修）

平成29年 9月25日　初版発行

著　　者　梅田阿比
©A.UMEDA 2017
発 行 者　沖　　浩
発 行 所　株式会社 秋田書店
〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03) 3265-7376　販売(03) 3264-7248
製作(03) 3265-7373
振替口座　00130-0-99353
印 刷 所　三共グラフィック株式会社　Printed in Japan

ISBN978-4-253-26031-2